NTT

カラーカメラドアホンーＰⅡ/ カラーカメラドアホンモニターＰⅡ 取扱説明書

このたびは、カラーカメラドアホンー PⅡおよびカラーカメラドアホンモニター PⅡを
お買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
●お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項や、知っておくと便利な内容を示しています。

- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、録画などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

- **本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内に登録または保持されたデータの流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に登録または保持されたデータを取扱説明書の消去方法(☞ 6 ページ)にしたがって消去願います。**

■プライバシー・肖像権について

ドアホンおよびカメラの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。
※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

商標・登録商標について

■本書の記載・表記について

- 本書は、カラーカメラドアホンモニター P Ⅱにカラーカメラドアホン－ P Ⅱを接続した基本セットに、別売の 2.4 G ワイヤレスモニター P と 2.4 G ワイヤレスカメラー P を接続した場合の説明も併せて記載しています。
- 本書では、カラーカメラドアホンモニター P Ⅱを「ドアホン親機」、カラーカメラドアホン－ P Ⅱを「ドアホン」、別売の 2.4 G ワイヤレスモニター P ／ 2.4 G デジタルコードレス電話機「P3」を「子機」、同 2.4 G ワイヤレスカメラー P を「カメラ」と表記しています。

⚠危険

- 電池パックの充電は、本商品に装着し専用の充電器を使用して行ってください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、本商品専用です。本商品以外の機器で使用すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックを使用する場合は、以下のことを必ず守ってください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
  - ・火の中に投入したり、加熱しない。
  - ・直接はんだ付けしない。
  - ・プラス・マイナスを針金などの金属類で接触しない。
  - ・水や海水につけたり、ぬらさない。
- 電池パックを分解、改造しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠警告

- 電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。
- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグや電源アダプタをそれぞれ電源コンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、または、内部に異物や水などが入った場合は、電源プラグや電源アダプタをそれぞれ電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、まず本商品の電源プラグや電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 本商品を分解、改造しないでください。火災・感電および故障の原因となることがあります。
- 本商品のキャビネットを外さないでください。感電や故障の原因となることがあります。指定以外の内部の点検・調整・清掃・修理は、当社のサービス取扱所にご依頼ください。
- 本商品のそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品をふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源は、AC100 V の商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードや電源アダプタコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりするとコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠警告

- 電源コードや電源アダプタコードが傷んだ状態(芯線の露出、断線など)のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグ、電源アダプタを抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグや電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から 1 年に 1 回は、電源プラグや電源アダプタを電源コンセントから抜いて点検、清掃してください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社サービス取扱所にご相談ください。
- ぬれた手で本商品の操作や電源プラグ、電源アダプタの抜き差しをしないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタや電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源アダプタや電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。
- 本商品は高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くに設置および近くで使用しないでください。
  - ・電子機器が誤動作したりするなどの原因となることがあります。
  - ・使用を制限された場所では使用しないでください。
    例：医療用電子機器など
- 本商品をお手入れするときは、電源プラグや電源アダプタを電源コンセントから抜いて行ってください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のそばで可燃性スプレーを使用しないでください。スプレーのガスが本商品内部の電磁部品などに付着すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品のお手入れには、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本商品内部の電磁部品に付着したり、揮発性ガスが本商品内部に充満すると、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 充電器および電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源アダプタを電源コンセントに差し込んでおくと振動でゆるみ、すきまができる場合があります。そのすきまにピンなどが入り込むと短絡して、火災・感電の原因となることがあります。電源コンセントと電源アダプタの間にすきまができていないか、定期的に点検してください。
- 本商品を直射日光の当たるところや、暖房設備、ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところには置かないでください。内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。
- 本商品を調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、電源プラグや電源アダプタを電源コンセントから抜いてご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品や電源コード、電源アダプタコードを熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 充電器の充電端子部分に指輪やクリップなどの金属類を置かないでください。金属が熱くなり、火災・やけどの原因となることがあります。
- 電池パックは 2 年程度で交換してください。長期間電池パックを装着したままでご使用になると、液もれによるトラブルが発生する場合があります。
- ぬれた手で電池パックを交換しないでください。感電の原因となることがあります。

⚠注意

お使いになる前に

- 本商品をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品を壁に取り付けるときは、本商品の重みにより落下しないようしっかりと取り付け、設置してください。落下して、けが・破損の原因となることがあります。
- 本商品の底面部は、温度が上昇しますのでカーペットやソファーなどの上に設置しないでください。焦げたり、火災の原因となることがあります。
- 本商品の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。

⚠注意

お使いのとき

- 本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の電源プラグや電源アダプタを電源コンセントから抜いてください。また、電池パックを使用しているときは、電池パックを取り出してください。
- 本商品を移動するときは、電源プラグや電源アダプタを抜いたことを確認してから行ってください。電源プラグや電源アダプタが電源コンセントに差し込まれたまま移動すると、電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、直射日光の強いところや高温多湿の場所での使用、保管は避けてください。電池パックの性能や寿命を低下させる原因となる場合があります。
- 電池パックの充電温度範囲は0 ℃～40 ℃です。この温度範囲以外で充電すると、液もれや発熱したり、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。
- 電池パックに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。電池パックの液がもれたり、発熱・破裂の原因となることがあります。

お願い

置き場所について

- 本商品が正常に動作しなかったり、故障の原因となることがありますので、以下のようなところには置かないでください。
  - ・製氷倉庫など特に温度が下がる場所
  - ・塵、ほこり、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
  - ・クーラー、暖房器具、換気口などからの風が直接あたる場所
  - ・換気の悪い場所
  - ・揮発性可燃物やカーテンに近い場所
  - ・振動が多い場所
  - ・温度が急激に変化する場所
- 金属製家具などの近くへの設置は避けてください。ドアホン親機と子機またはカメラ間の電波が飛びにくくなります。
- 周囲の環境(壁、家具など)によっては使用範囲が狭くなります。
  - ・ドアホン親機と子機またはカメラ間で通話して、電波の強さを確認して通話できる範囲を確かめてください。
- 硫化水素が発生する場所(温泉地など)では、本商品の寿命が短くなることがあります。
- カメラは屋内専用です。屋外に設置しないでください。故障の原因となることがあります。
- 子機やカメラを汚れやすいところに置かないでください。故障の原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お願い

取り扱いについて

- 本商品をベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品から微弱の磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方で、異常を感じた場合は、本商品から離れ、その後、医師にご相談ください。
- 充電器の電源アダプタを抜いたままにしないでください。子機が充電できません。子機は充電を必要としますので、ご使用にならないときは、確実に充電器に置いてください。
- 充電器にキャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類を近づけないでください。カード類が使えなくなることがあります。
- 子機およびカメラは、防水が施されていません。次のような使用はしないでください。
  - ・ぬらさないでください。
  - ・浴室で使用したり、水の中に浸けたりしないでください。
  - ・水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などでふき取ってください。
  - ・子機に水滴が付いたまま、充電器に戻さないでください。
  - ・ぬれたまま、0 ℃以下になる場所に放置しないでください。
- 子機およびカメラを使っての通話は、電波を利用している関係上、第三者が故意または偶然に通話を受信することも考えられます。
- 本商品の子機およびカメラは、2.4 ～ 2.4835 GHz の全帯域を使用する無線設備です。移動体識別装置の帯域が回避不可能で、変調方式は「FH-SS 方式」、与干渉距離は 80 m です。本商品には、それを示す右のようなマークが貼付されています。

2.4FH8

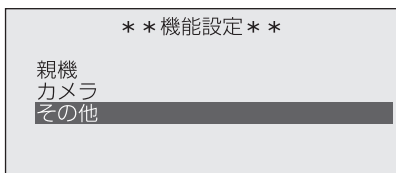
廃棄(または譲渡、返却)される場合のご注意

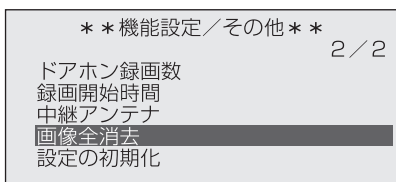
本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報(録画された画像など)の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品に保存または保持された情報を下記の操作にしたがって消去願います。

1 待ち受け中に、【設定】を 3 秒以上押し、【▼】【▲】で その他 を選ぶ

＊＊機能設定＊＊
親機
カメラ
その他

2 【D】を押し、【▼】【▲】で 画像全消去 を選ぶ

＊＊機能設定／その他＊＊
2／2
ドアホン録画数
録画開始時間
中継アンテナ
画像全消去
設定の初期化

3 【D】を押し、【▼】【▲】で はい を選ぶ

＊＊画像全消去＊＊
はい
いいえ

4 【D】を押す

- 「ピー」と鳴り、手順 2 の画面を表示する
- 別売の子機やカメラの画像も同時に消える

5 終わったら、【切】を押す

2.4 G ワイヤレスモニター P（別売）・2.4 G デジタルコードレス電話機「P3」（別売）・2.4 G ワイヤレスカメラー P（別売）の取り扱いについて

■電波の干渉について

本商品の子機およびカメラは、2.4 GHz（ギガヘルツ）の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器が使用していますので、電波の干渉により、本商品や他の機器の動作や性能に悪影響をおよぼす場合があります。本商品は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。

●電子レンジなどを使用中に、近くで本商品の子機またはカメラを使用すると、通話や映像がとぎれたり、画像が乱れたり、画像の更新が遅くなったり、使えなくなることがあります。ドアホン親機は電子レンジなどから離して設置（めやす：約 3 m 以上）し、子機やカメラも電子レンジなどの近くで使用しないでください。

●無線 LAN 機器（ルーター、AV 機器、防犯機器など）を使用している環境では、本商品の子機やカメラを使用すると、通話や映像がとぎれたり、画像が乱れたり、画像の更新が遅くなったり、無線 LAN 機器の動作に大きな影響を与える場合があります。本商品を無線 LAN 機器から、なるべく離して使用してください。また、本商品と、無線 LAN 機器本体の設置位置を上下にすると干渉を回避できる場合があります。

●その他、下記の機器でも、2.4 GHz の周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、通話や映像がとぎれたり、画像が乱れたり、画像の更新が遅くなったり、使えなくなる場合があります。また、相手の機器の動作に影響を与える場合があります。なるべく、設置場所や使用場所を離してご使用ください。

- デジタルコードレス電話機（ファクス）
- ワイヤレス AV 機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
- ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- 万引き防止システム（書店や CD ショップなど）
- アマチュア無線局
- 工場や倉庫などの物流管理システム
- 鉄道車両や緊急車両の識別システム
- マイクロ波治療器
- その他、Bluetooth™ 対応機器や VICS（道路交通情報通信システム）など

●2.4 G デジタルコードレス電話機「P3」をドアホン親機と電話（ファクス）親機の両方に登録して使う場合、次の距離で使えます。

※ 1 ドアホン親機・電話（ファクス）親機との間に何も障害物がない場合、見通し約 100 m 以内の距離で使えます。
※ 2 見通し約 100 m 以内（何も障害物がない場合）の距離で設置してください。

■電波に関する注意

本商品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本商品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本商品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本商品の電源プラグや電源アダプタを抜いて、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご連絡いただき、混信回避のための処置などについてご相談ください。
3. その他、本商品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合などは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

● ドアホン親機と子機またはカメラの間に何も障害物がない場合、約 100 m 以内の距離で使えます。

● ドアホン親機と子機またはカメラの間に下記のような障害物がある場合、電波が遮られて極端に弱くなります。ドアホン親機との距離が近くても、プツプツ音がして通話や映像がとぎれたり、画像が乱れたり、画像の更新が遅くなることがあります。

- 金属製のドアや雨戸
- アルミ箔入りの断熱材が入っている壁
- コンクリートやトタン製の壁
- ドアホン親機と異なる階で子機やカメラを使うときの床や天井（ドアホン親機を 1 階、子機を 2 階で使うときなど）
- ドアホン親機と別の棟や建物で子機やカメラを使うときの壁（ドアホン親機を母屋、子機を離れで使うときなど）

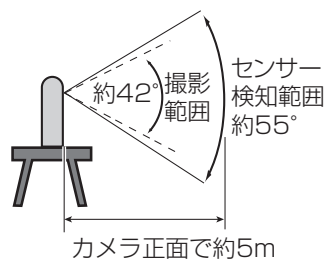
●補聴器をお使いの場合、補聴器の種類によっては通信中に雑音が入ることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

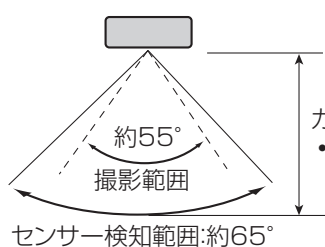
2.4 Gワイヤレスカメラー P（別売）の人感センサーの検知範囲と撮影範囲について

人感センサーとは、温度をもつものから自然に放射される赤外線によって生じる温度変化を検知するセンサーです。これにより、人や動物などの動きを検知できます。

■センサーの検知範囲とカメラの撮影範囲（周囲の温度が約 20 ℃のとき）

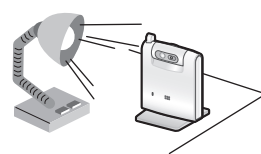
（カメラを横から見たとき）

カメラ正面で約5m
• 上側、下側では、短くなります。

（カメラを上から見たとき）

センサー検知範囲:約65°

- センサーの検知範囲は、環境温度や対象の移動スピードなどの条件により大きく変化します。
  設置場所に注意してください。
- 夏場のように周囲の環境温度と人体との温度差が少ない場合は、検知範囲内でも人感センサーが反応しないことがあります。
- 人感センサーは、横からの動きによる温度変化を検知しやすく、正面からの動きは検知しにくくなります。右記のように、カメラの前を人が横切るような場所に設置してください。

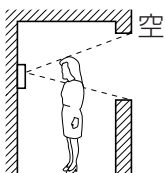
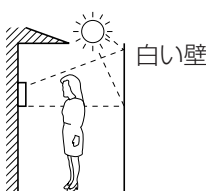
■人感センサーを正しく動作させるために（こんなところに設置しない）

●下記のような場所では、温度変化の検知が正しく行われないことがあります。
ドアホン親機との距離が近くても、プツプツ音がして通話や映像がとぎれたり、画像が乱れたり、画像の更新が遅くなることがあります。

- **直射日光のあたるところ**
- **冷暖房機の近くなど、温度変化の激しいところ**
- **台所など油汚れがついたり、蒸気がかかるところ**
- **携帯電話など強い電波を発する製品の近く**
- **前方に温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物があるところ**
- **白熱灯の真下など、周囲の温度が高くなるところ**

●外からの風や、扉の開閉などで吹き込む風でカメラ周辺の温度が変化した場合も、センサーが反応することがあります。

カラーカメラドアホン－ P Ⅱの設置場所について

● **逆光の場合、来訪者の顔が識別しにくくなりますので、下図のような場所への設置は避けてください。**

マンションの階上など、背景に空の占める割合の大きい玄関

正面に、直射日光が反射する白壁がある玄関

直射日光があたるような、南向きの明るい玄関

● **下図のように反響の多い場所では、「ピー」という音が鳴ることがあります。**

もくじ

確認と準備

ドアホンを使う

カメラ(別売品)を使う

録画機能

室内通話

もっと便利に

必要なとき

本商品の特長

来訪者をカラーで確認

- カラーディスプレイで来訪者を確認できるので、安心です。また、来訪者の映像を自動で録画したり、ディスプレイを見ながら録画できます。（☞ 34、35 ページ）

外の様子を確認

- 映像と音で、玄関先の様子を確認できます。（☞ 29 ページ）

留守中の来訪者も確認
（自動録画機能）

- 呼出ボタンが押されると自動的に録画されるので、留守中の来訪者を確認することができます。（☞ 34 ページ）

男性のような低い声で応対
（ボイスチェンジ機能）

- 女性などの高い声を、男性のような低い声で応対ができるように設定することができます。（☞ 25 ページ）

ただいまコール

- 室内の応答を待たずに、ドアホンから「ただいま」と呼びかけて、帰宅を知らせることができます。（☞ 26 ページ）

声で応答する（音声応答）

- 通話ボタンを押さなくても、応答することができます。（☞ 26 ページ）

2.4 G ワイヤレスモニター P （別売）を加えると

どこにいても応答できる

- 子機はワイヤレス機能でどこでも持ち運びでき、どこにいてもドアホンに応答できます。（☞ 24 ページ）

※ ドアホン親機と子機との間に何も障害物がない場合、ドアホン親機を中継して約 100 m 以内の距離で使えますが、周囲環境によっては、電波の届く距離が短くなります。

室内通話ができる

- ドアホン親機と子機との間で通話（映像は映りません）ができます。（☞ 40 ページ）

2.4 G デジタルコードレス電話機「P3」（別売）を加えると

どこにいてもドアホンと電話のどちらにも応答できる

- 子機はワイヤレス機能でどこでも持ち運びでき、どこにいてもドアホンと電話のどちらにも応答できます。
（☞ 2.4 G デジタルコードレス電話機「P3」取扱説明書）

※ ドアホン親機と子機との間に何も障害物がない場合、ドアホン親機を中継して約 100 m 以内の距離で使えますが、周囲環境によっては、電波の届く距離が短くなります。

画像を拡大して見ることができる

- 表示中の映像（画像）を 1.5 倍、2.0 倍に拡大表示できます。（☞ 2.4 G デジタルコードレス電話機「P3」取扱説明書）

室内通話ができる

- ドアホン親機と子機との間で通話（映像は映りません）ができます。（☞ 2.4 G デジタルコードレス電話機「P3」取扱説明書）

2.4 G ワイヤレスカメラー P （別売）を加えると

別の部屋の様子を確認

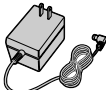
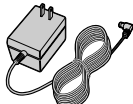
- 映像と音で、カメラを設置した部屋の様子を確認することができます。（☞ 31 ページ）

人感センサーで人の出入りをチェック

- 人感センサーが人の出入りをチェックしお知らせします。自動録画することもできます。（☞ 30 ページ）

お使いの前に

本書の記載・表記について

- 本書は、カラーカメラドアホンモニター PⅡ(ドアホン親機)にカラーカメラドアホン－ PⅡ(ドアホン)を接続した基本セットに、別売の 2.4 G ワイヤレスモニター P (子機)と 2.4 G ワイヤレスカメラ－ P (カメラ)を接続した場合の説明も併せて記載しています。
- **別売の 2.4 G デジタルコードレス電話機「P3」(子機)については、2.4 G デジタルコードレス電話機「P3」取扱説明書を参照してください。**
- 本書では説明をわかりやすくするために、下記のように名称を省略しています。

			(別売)	(別売)	(別売)
正式名称	カラーカメラドアホンモニターPⅡ	カラーカメラドアホン－ PⅡ	2.4 G ワイヤレスモニター P	2.4 Gデジタルコードレス電話機「P3」	2.4 G ワイヤレスカメラ－ P
本書での表記	**ドアホン親機**	**ドアホン**	**子 機**	**子 機**	**カメラ**

付属品について

セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁･落丁があった場合には、当社のサービス取扱所へご連絡ください。

基本セット

〈カラーカメラドアホンモニターPⅡ〉

- ☑ 取扱説明書(本書)...1 部
- □ 「NTT 通信機器お取扱相談センタ」シール.....1 枚
- □ 保証書......................1 式
- □ 壁掛け金具 ....1 個(設置工事用)
- □ 木ネジ・小ネジ...各 2 個(設置工事用)
- □ 棒型圧着端子 ....4 個(設置工事用)

〈カラーカメラドアホン－PⅡ〉

- □ 保証書......................1 式
- □ 木ネジ・小ネジ...各 2 個(設置工事用)

2.4 Gワイヤレスモニター P(別売)

- □ 電源アダプタ(長さ約 1.8 m).....1 個
- □ 電池パック ....1 個
- □ 電池カバー ....1 個
- □ 充電器......................1 個
- □ 充電器スタンド.......1 個
- □ 充電器壁掛け用木ネジ・ワッシャー.............................各 2 個
- □ 保証書......................1 式

2.4 Gワイヤレスカメラ－P(別売)

- □ 電源アダプタ(長さ約 5 m) ....1 個
- □ カメラスタンド.......1 個
- □ 増設番号シール.......1 枚
- □ 保証書......................1 式

各部のなまえとはたらき

ドアホン親機

液晶ディスプレイ
（ ☞ 14 ページ）

スピーカー

【切】ボタン
- 通話などの操作を終了するときに押す。
- 待ち受け中に押すと、情報表示画面を確認できる。（ ☞ 14 ページ）

送話ランプ
送話中に点灯する。

【通話】ボタン
通話するときに押す。（ ☞ 24 ページ）

通話ランプ（ ━━ ）
ドアホンや子機（別売）からの着信中は点滅、通話中は点灯する。

マイク
話すとき、手でふさがないでください。

【F】ボタン

機能を設定することができます。
（設定するには ☞ 48 ページ）
お買い求め時は、機能「なし」に設定されています。

【ドアホン】ボタン

外の様子を確認するときに押す。（ ☞ 29 ページ）

【カメラ】ボタン 別売のカメラ増設時のみ

カメラ周辺の様子を確認するときに押す。（ ☞ 31 ページ）

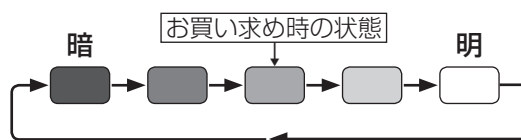
【ボイスチェンジ】ボタン

声を変えて話すときに押す。
（ ☞ 25 ページ）

【明るさ / 設定】ボタン

●映像（画像）の明るさを変えるときに押す。
➡ 押すごとに明るさが切り替わる（5 段階）

●機能設定を始めるときに 3 秒以上押す。
（ ☞ 42 ページ）

【室内呼】ボタン 別売の子機増設時のみ

子機を呼び出すときに押す。
（ ☞ 27、40 ページ）

マルチファンクションキー

【▲】
【▼】

● ドアホンからの呼出音量を変える。（ ☞ 46 ページ）
● 受話音量を変える。（ ☞ 46 ページ）
● 項目を選ぶときや、再生する画像を選ぶときなどに使う。

【◀】
【▶】

● カメラ（別売）からの呼出音量を変える。（ ☞ 46 ページ）

【D】

● 映像を録画する。（ ☞ 35 ページ）
● 画像を再生する。（ ☞ 36 ページ）
● ドアホンやカメラ（別売）の未再生画像があるときは点滅する。
（ ☞ 34 ページ）

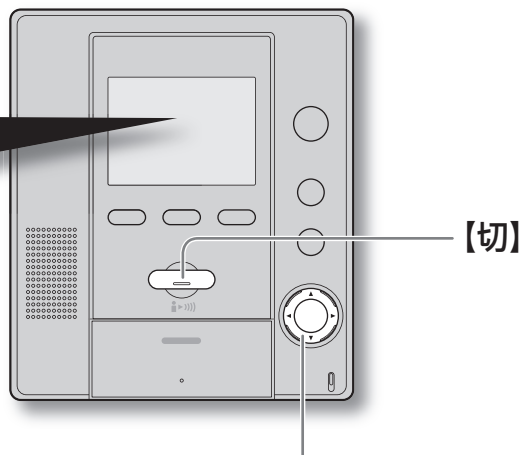
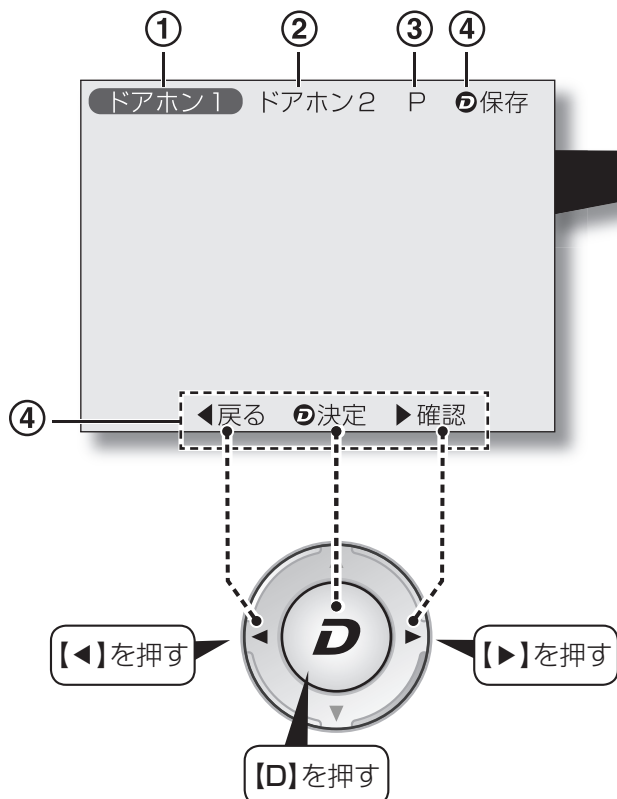
各部のなまえとはたらき

液晶ディスプレイの見かた(ドアホン親機)

下記は説明のためすべての表示を記載したものです。(実際の状態とは異なります)

● 待ち受け中はバックライトが消灯して何も見えなくなりますが、**【切】ボタン**を押すと〈情報表示画面〉を表示します。

〈操作中の画面〉

〈情報表示画面〉

■ こんなときに表示されます

① 着信中、通話中、モニター中の機器を表示する。画像再生中は、撮影した機器を表示する。

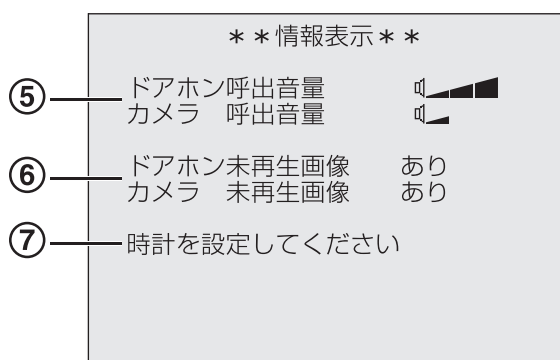
② 通話中やモニター中に、呼び出してきた機器を表示する。(☞ 28、33 ページ)

③ プレストーク中に表示する。(☞ 25 ページ)

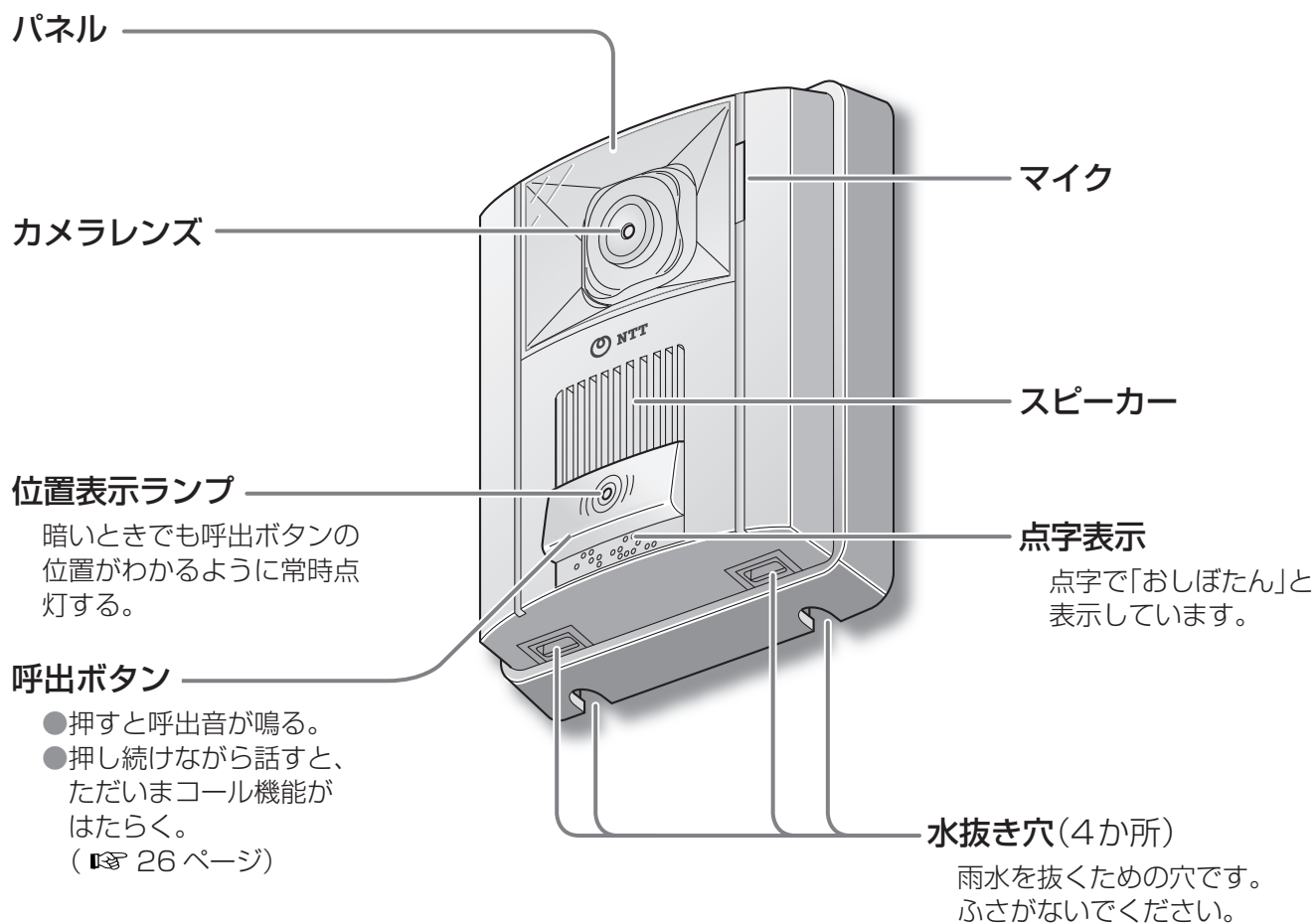
④ マルチファンクションキーで行う操作を表示する。
(表示は、操作する場面によって変わります)

⑤ ドアホンやカメラ(別売)からの現在の呼出音量を表示する。
「切」に設定中は 切 を表示する。

⑥ ドアホンやカメラ(別売)の未再生画像があるときに表示する。

⑦ 日時が設定されていないときに表示する。
(☞ 23 ページ)

液晶ディスプレイの映像表示について

カメラ(別売)からの映像は、約 3 秒ごとに更新しながら表示されます。(動画ではありません)

ドアホン

お知らせ

- ドアホンの映像は昼間など明るいときはカラー表示されますが、夜間など、ドアホンの周囲が暗いときは白黒映像になります。

各部のなまえとはたらき

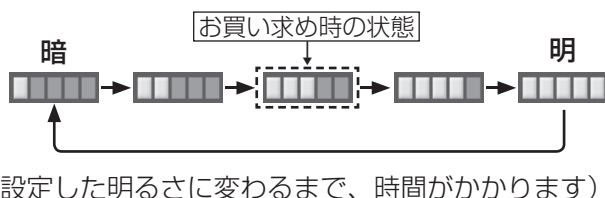
■ 正面

液晶ディスプレイ
（☞ 18 ページ）

【室内呼】ボタン
ドアホン親機や別の子機（別売）を呼び出すときに押す。
（☞ 27、41 ページ）

【明るさ / 設定】ボタン

● 映像（画像）の明るさを変えるときに押す。
➡ 押すごとに下記の表示が切り替わる（5 段階）

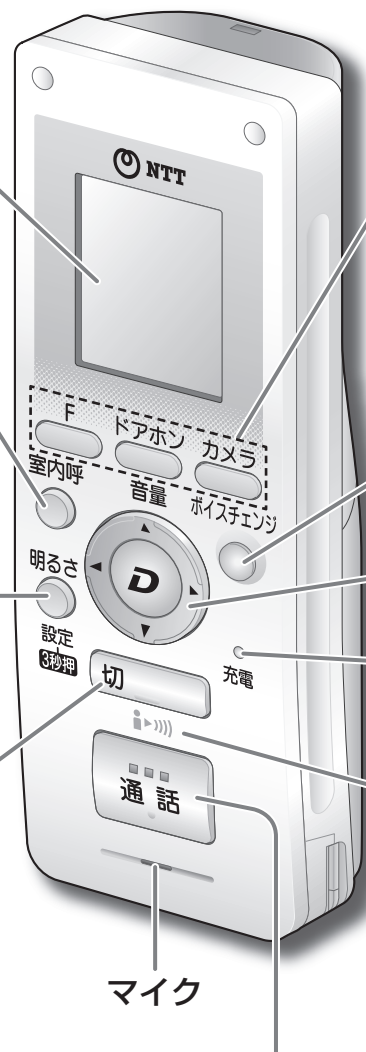
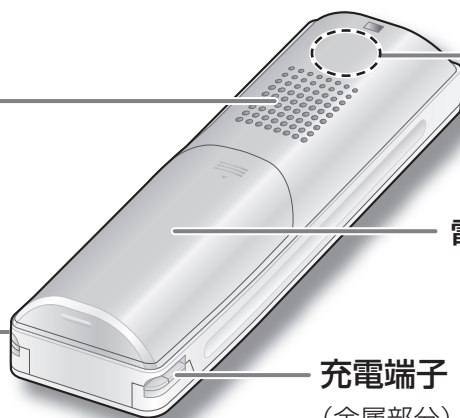
（設定した明るさに変わるまで、時間がかかります）

● 機能設定を始めるときに 3 秒以上押す。
（☞ 42 ページ）

【切】ボタン

● 通話などの操作を終了するときに押す。
● 待ち受け中、バックライトを点灯させるときに押す。

マイク

【通話】ボタン
通話するときに押す。（☞ 24 ページ）

通話ランプ（▫▫▫）
ドアホンやドアホン親機からの着信中は点滅、通話中は点灯する。

■ 背面

【F】ボタン
機能を設定することができます。
(設定するには ☞ 48 ページ)
お買い求め時は、機能「なし」に設定されています。

【ドアホン】ボタン
外の様子を確認するときに押す。
(☞ 29 ページ)

【カメラ】ボタン 別売のカメラ増設時のみ
カメラ周辺の様子を確認するときに押す。
(☞ 31 ページ)

【ボイスチェンジ】ボタン
声を変えて話すときに押す。(☞ 25 ページ)

充電ランプ
充電中に点灯、充電が完了すると消灯する。
(☞ 22 ページ)

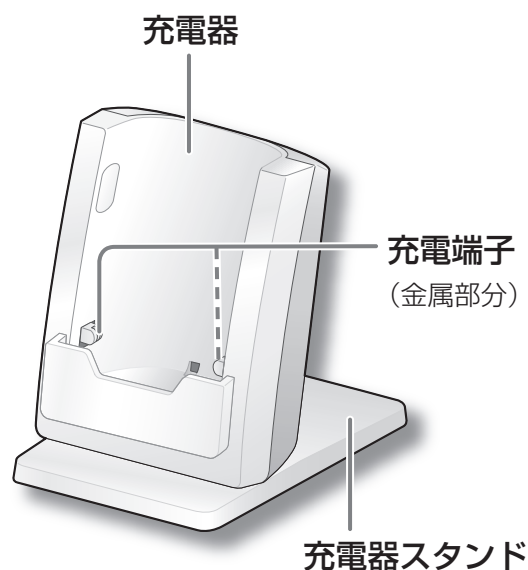
送話ランプ
送話中に点灯する。

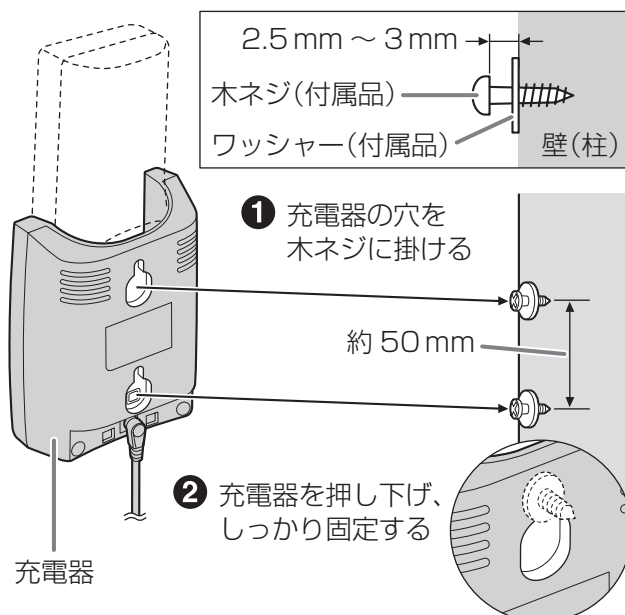
マルチファンクションキー

【▲】【▼】
- ドアホンからの呼出音量を変える。(☞ 46 ページ)
- 受話音量を変える。(☞ 46 ページ)
- 項目を選ぶときや、再生する画像を選ぶときなどに使う。

【◀】【▶】
- カメラ(別売)からの呼出音量を変える。(☞ 46 ページ)
- 映像(画像)表示中に押すと、映像(画像)が少し左右に移動する。

【D】
- 映像を録画する。(☞ 35 ページ)
- 画像を再生する。(☞ 36 ページ)

子機用充電器

※組み立てかたは ☞ 22 ページ

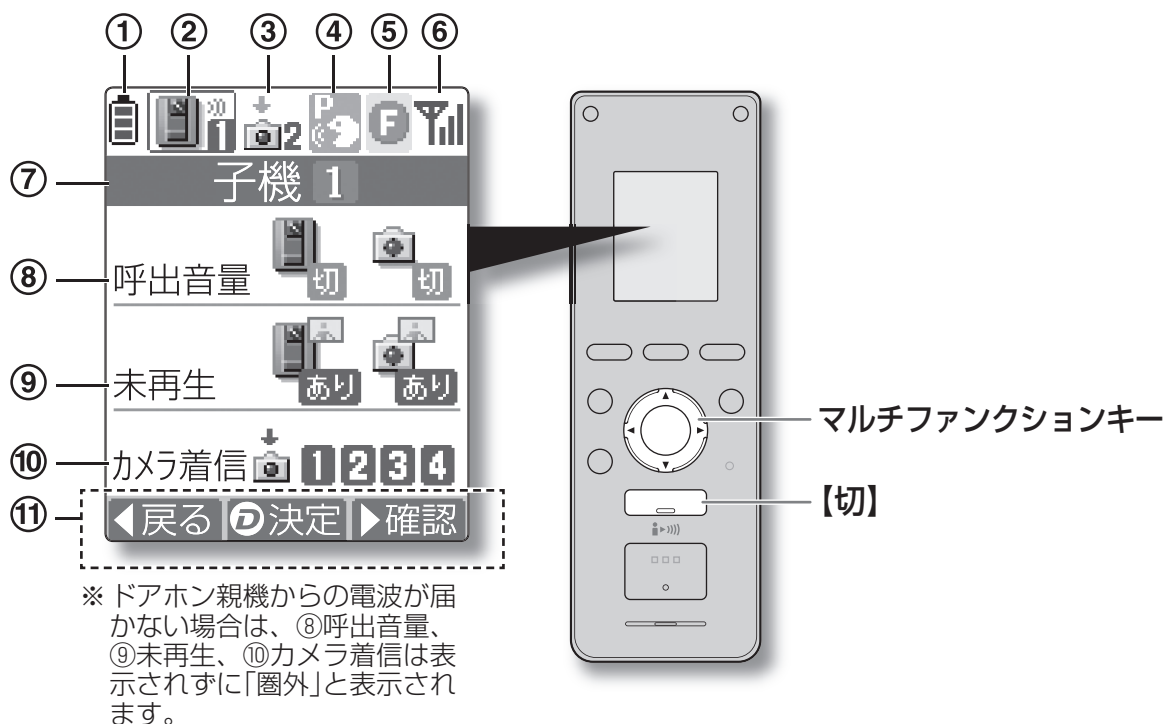
- 充電器スタンドは不要です。

壁掛寸法のめやす

約 50 mm

各部のなまえとはたらき

液晶ディスプレイの見かた(別売の子機)

下記は説明のためすべての表示を記載したものです。(実際の状態とは異なります)
●待ち受け中はバックライトが消灯して何も見えなくなりますが、**【切】ボタン**を押すと表示されます。

※ドアホン親機からの電波が届かない場合は、⑧呼出音量、⑨未再生、⑩カメラ着信は表示されずに「圏外」と表示されます。

■ こんなときに表示されます

① 電池残量のめやすを表示する。

② 着信中、通話中、モニター中の機器を表示する。
画像再生中は、撮影した機器を表示する。

 ドアホン1
(増設時は も表示)

ドアホン親機

 子機1(別売)
(増設時は ～ も表示)

 カメラ1(別売)
(増設時は ～ も表示)

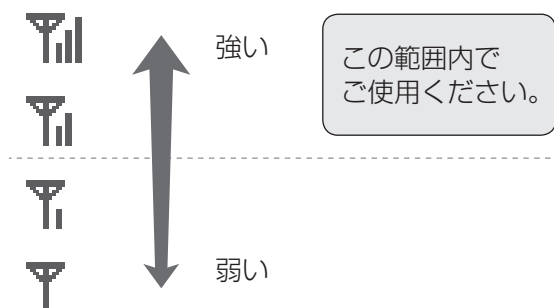
③ 通話中やモニター中に、呼び出してきた機器を表示する。

 ドアホン1
(増設時は も表示)

  カメラ1(別売)
(増設時は ～ も表示)

④ プレストーク中に表示する。
（☞ 25 ページ）

⑤ 【F】ボタンに登録した機器が ON のときに表示する。（☞ 48 ページ）

⑥ 電波の状態を表示する。

（点滅） 圏外

ドアホン親機からの電波が届かず、使用できないときに点滅する。
（ドアホン親機に近づけてください）

⑦ ご使用の子機（別売）の番号を表示する。

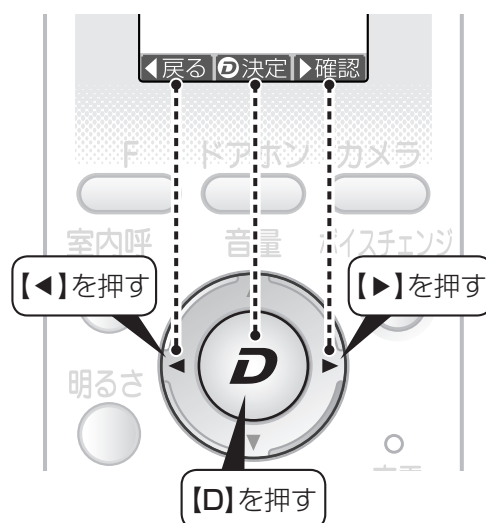
⑧ ドアホンからの呼出音量を「切」に設定中に表示する。

カメラ（別売）からの呼出音量を「切」に設定中に表示する。

⑨ ドアホンの未再生画像があるときに表示する。

 カメラ（別売）の未再生画像があるときに表示する。

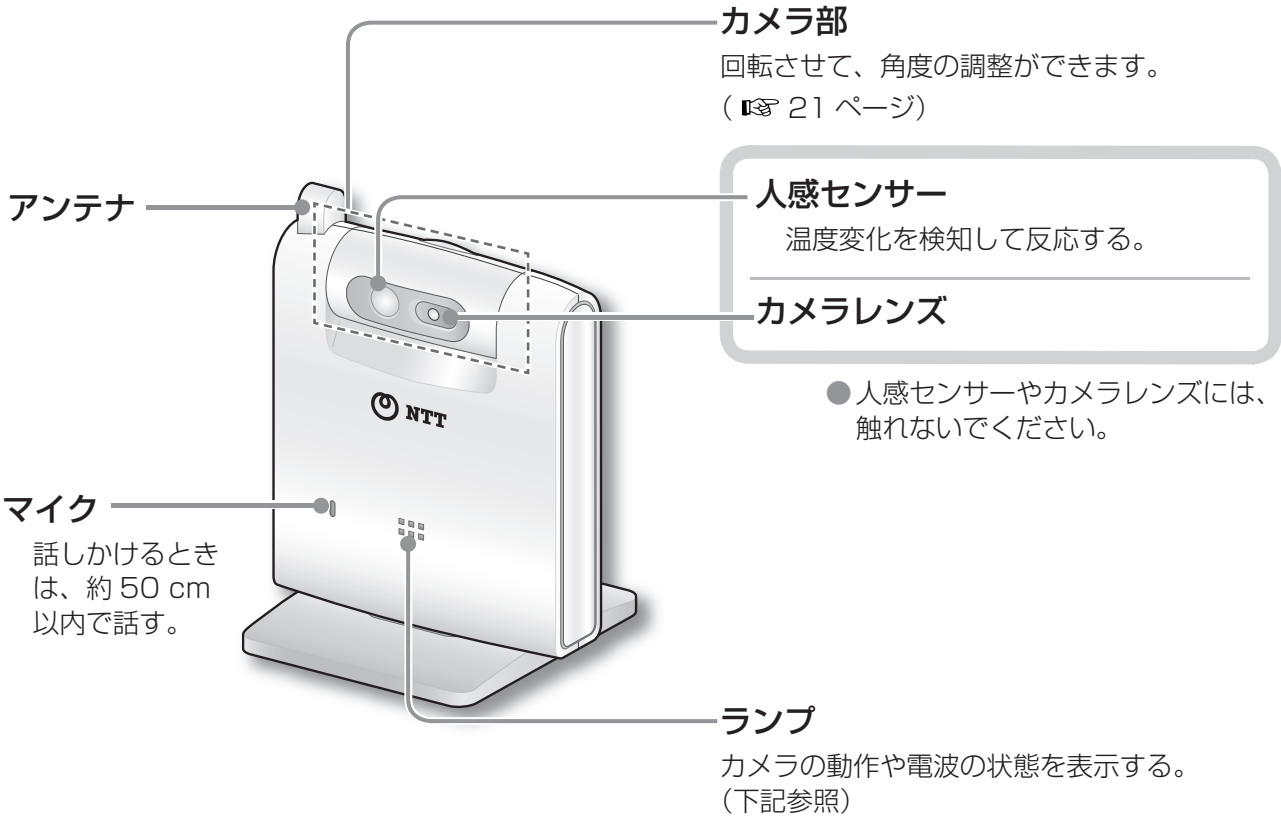
⑩ 通話中やモニター中に呼び出してきたカメラ（別売）に応答できなかったとき、そのカメラの番号を表示する。
（増設時は 2 ～ 4 も表示）

⑪ マルチファンクションキーで行う操作を表示する。
（表示は、操作する場面によって変わります）

液晶ディスプレイの映像表示について

ドアホンやカメラ（別売）からの映像は、約 3 秒ごとに更新しながら表示されます。（動画ではありません）

各部のなまえとはたらき

カメラ(別売)

■ 正 面

ランプ表示について

ランプは、下記のようにカメラの動作や電波の状態を表示します。

ランプ		状　態
通信時	緑点滅	センサーが反応し、カメラから呼び出し中です。
	緑点滅(遅)	通信中です。
待ち受け時(電波状態表示)	緑点灯	強い ↑ 電波の状態を表しています。 ●**緑点灯になる場所への設置をお勧めします。**
	オレンジ点灯	
	赤点灯	↓ 弱い
	赤点滅	電波が届かず、通信できません。(圏外)

お知らせ

● ランプ表示は、以下のように設定変更できます。(☞ 44 ページ「ランプ表示」)
- 常時(お買い求め時の設定):ランプを常に点灯させる
- 通信時　　:モニター時や通話時のみランプを点灯させる
- 消灯　　　:ランプを常に消灯させる

■ 背 面

外部入力 1 2
DC IN 8.5V
登録

スピーカー

登録スイッチ

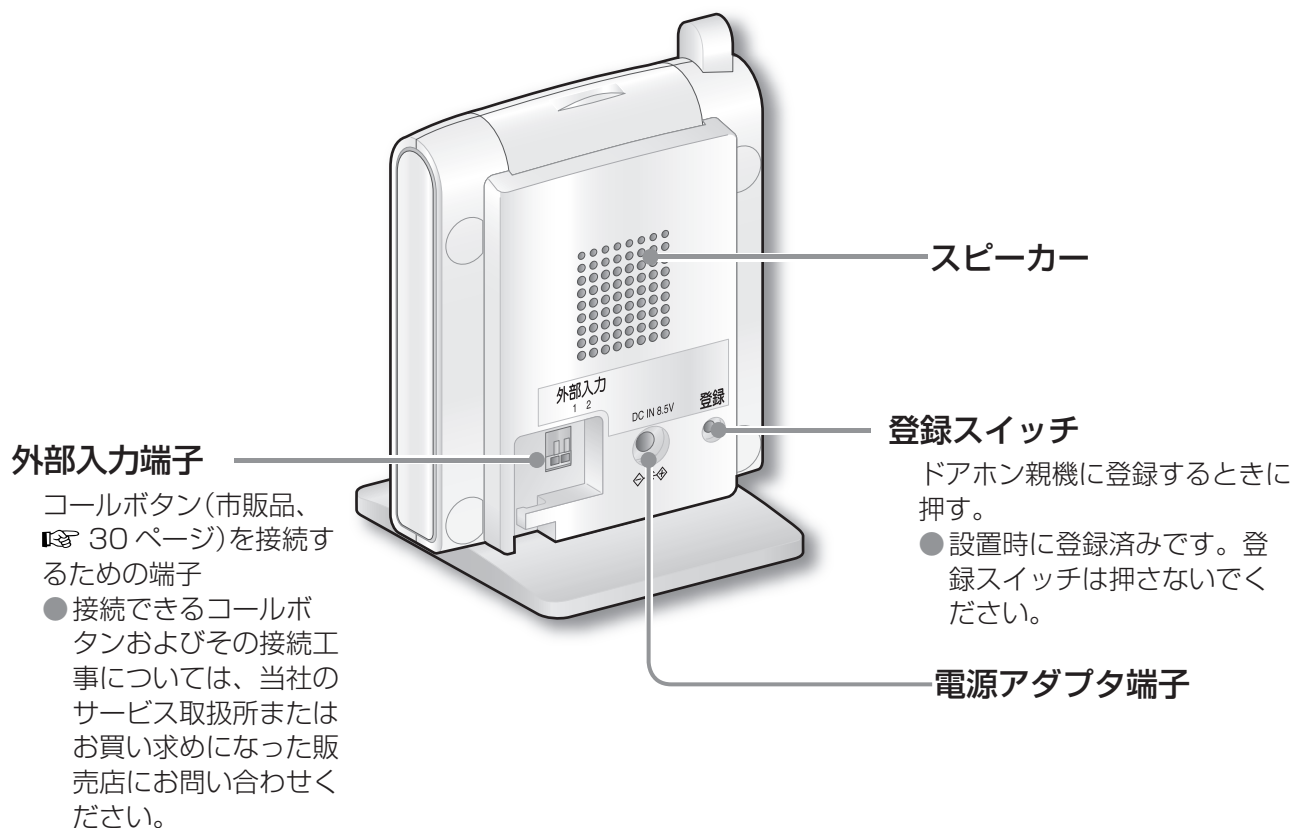
ドアホン親機に登録するときに押す。

● 設置時に登録済みです。登録スイッチは押さないでください。

電源アダプタ端子

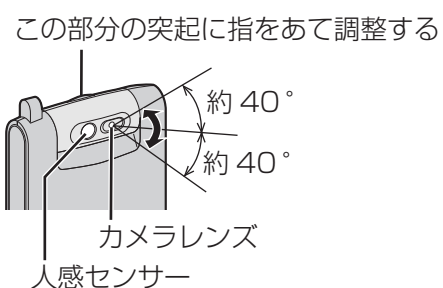
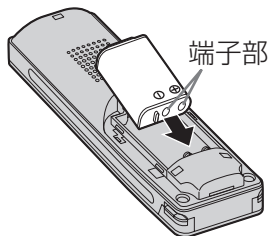
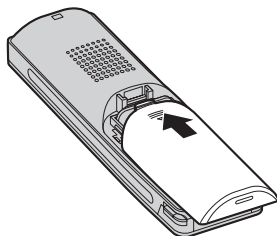
外部入力端子

コールボタン(市販品、☞ 30 ページ)を接続するための端子

● 接続できるコールボタンおよびその接続工事については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

カメラ部の角度を調整する

● モニターしたい位置が映っているか確認しながら、調整してください。
(☞ 31 ページ「カメラ周辺の様子を確認する」)

● カメラ部をまわしすぎないでください。(破損の原因になります)

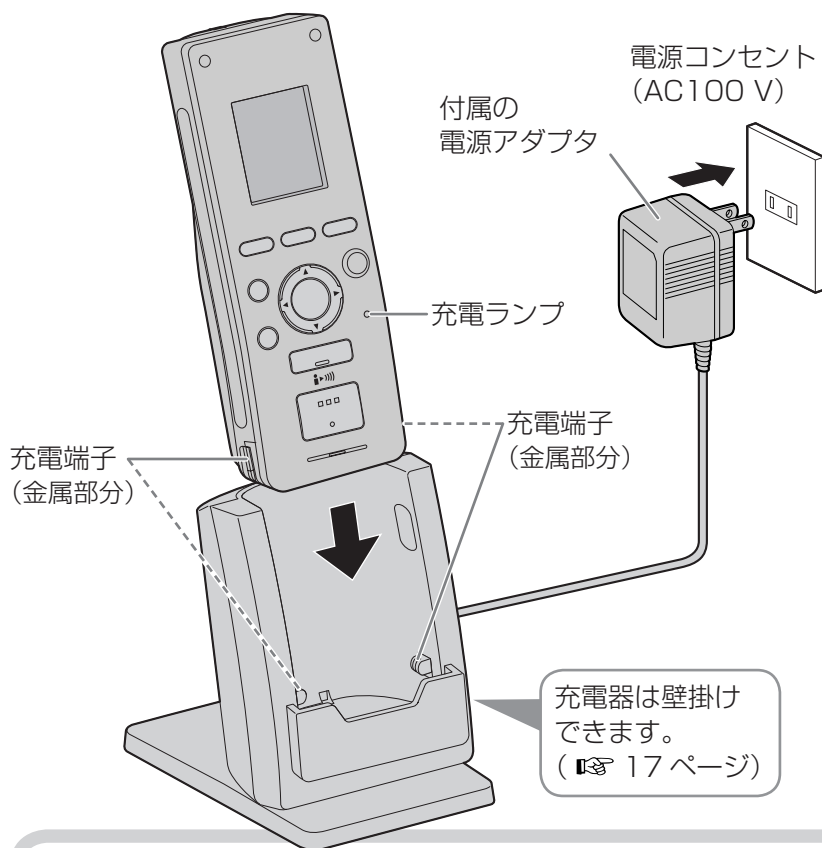
● 角度調整時に、カメラレンズや人感センサーに触れないでください。

子機(別売)を充電する

1 電池パックを入れる

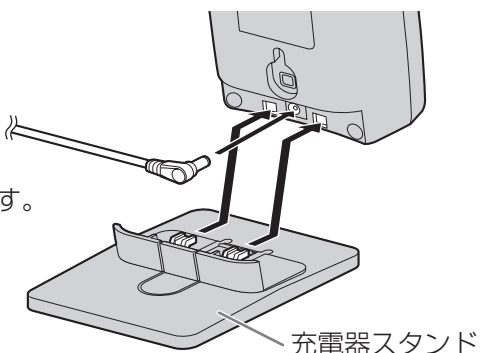
2 充電器を組み立てて、電源アダプタをつなぐ

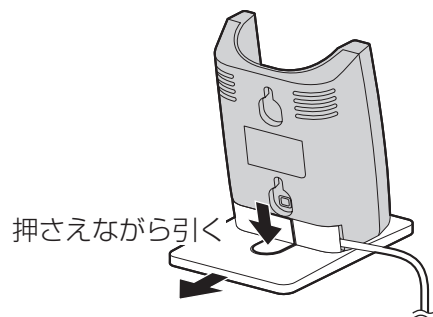
(☞ 下記「充電器の組み立てかた」)

3 子機を置き、7 時間以上充電する

充電中　：充電ランプが点灯
充電完了：充電ランプが消灯

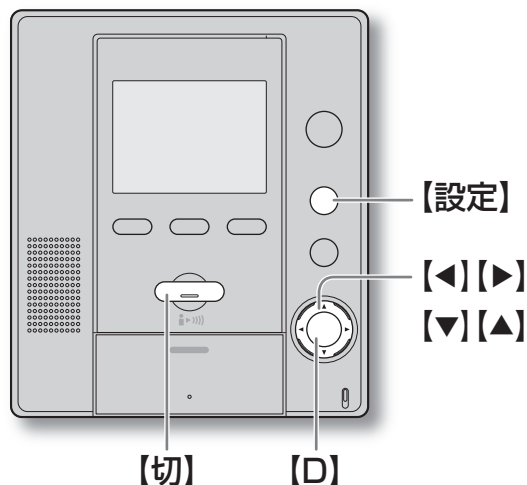
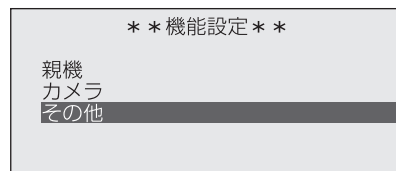
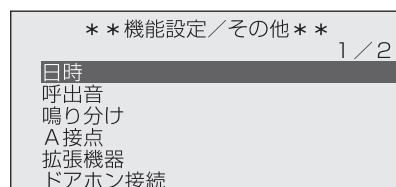
- 子機に「圏外」と表示されているときは、充電時間が長くなります。
  ➡ ドアホン親機の電源が入っていることを確認し、子機の「圏外」表示が消えるまでドアホン親機に近づけて充電してください。

〈充電器の組み立てかた〉

❶ 電源アダプタの
プラグを差し込む
- コードは左または
  右側に引き出せます。

❷ 充電器スタンドを
取り付ける

〈充電器スタンドの取り外しかた〉

お願い

- 充電器と電源コンセントの接続には、付属の電源アダプタ(極性統一形プラグ)をご使用ください。
- 充電端子が汚れたときは、ふいてください。(☞ 54 ページ)
- **1 週間以上子機を充電器から外したり、1 週間以上子機の充電器の電源アダプタを抜くときは、電池パックの性能維持と電池の消耗を防ぐために、電池パックを子機から外してください。**
  ➡ 再び電池パックを入れたときは、電池残量が少なく表示されます。充電してお使いください。

日時を設定する

本商品には録画機能があります。日時設定をしないと、録画時に日時が記録されません。
設定はドアホン親機で行います。

例：12 月 1 日　16：00 に
録画した画像の再生画面

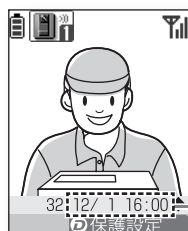
（ドアホン親機）

録画日時

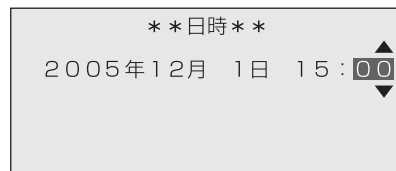
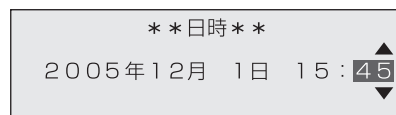
（別売の子機）

録画日時

1 待ち受け中に、【設定】を 3 秒以上押し、【▼】【▲】で その他 を選ぶ

2 【D】を押し、【▼】【▲】で 日時 を選ぶ

3 【D】を押し、日時を設定する

【◀】【▶】：年・月・日・時・分の項目を選ぶ
【▼】【▲】：数字を選ぶ
（押し続けると数字が早く切り替わる）

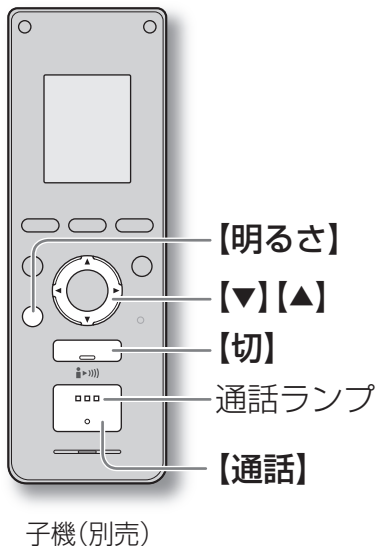
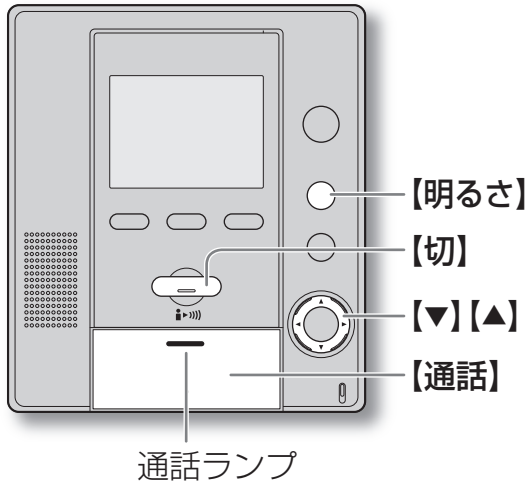
（設定例）

4 設定が終わったら、【D】を押す

↓
（「ピー」と鳴り、手順2の画面を表示）

5 【切】を押す

お知らせ

● 時刻は、1 か月に約 60 秒ずれることがあります。

呼び出しに応答する

ドアホンから呼び出しがあると、呼出音が鳴り、通話ランプが点滅します。
ディスプレイに映像が映るので、応答前に相手を確認できます。

呼出音が鳴り、ドアホンの映像が映ったら、

【通話】を押す

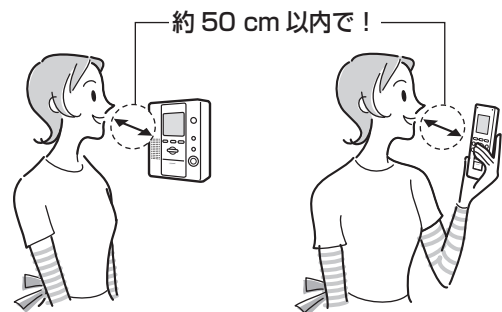
2

相手と話す

● 相手と交互にお話しください
（同時に話すと声が途切れます）

■ **通話中の音量を変えるには**
➡ 【▼】または【▲】を押す

■ **画面の明るさを変えるには**
➡ 【明るさ】を押す（☞ 13、16 ページ）

子機（別売）

3

終わったら、

【切】を押す

お知らせ

- 呼び出しは約 30 秒、通話は約 90 秒で自動的に終了し、映像が消えます。
  ➡ 【通話】を押すと、相手につながり再び話しができます。
- 子機から応答するときも【通話】を押してください。充電器から取りあげただけでは応答できません。
- 着信時の相手の映像が自動で録画されます。留守などで応答できなかったときも録画されます。（☞ 34 ページ）
- 通話中など、画面を見ながら手動で録画もできます。（☞ 35 ページ）
- 呼び出しがあると、映像はドアホン親機と子機の両方のディスプレイに映りますが、先に応答した方の映像は映り続け、応答しなかった方の映像は消えます。
- 呼び出しを電話機またはファクスで応答した場合、子機の映像はすぐに消えますが、ドアホン親機の映像は通話が終わるまで映っています。（ただし最大 3 分間）
- ドアホン親機または子機で呼び出しに応答したときは、電話機またはファクスでは着信動作を約 20 ～ 30 秒間継続しますが、応答することはできません。
- 呼出音の音色や音量は変更できます。（☞ 46 ページ）
- 夜間など、ドアホン側が暗いときは白黒映像になります。

〔別売のドアホンやカメラを増設してご使用のとき〕

- 着信中に別のドアホンやカメラから呼び出しがあると、あとから呼び出した機器の着信に切り替わります。
- 通話中に別のドアホンやカメラから呼び出されたら（☞ 28 ページ）

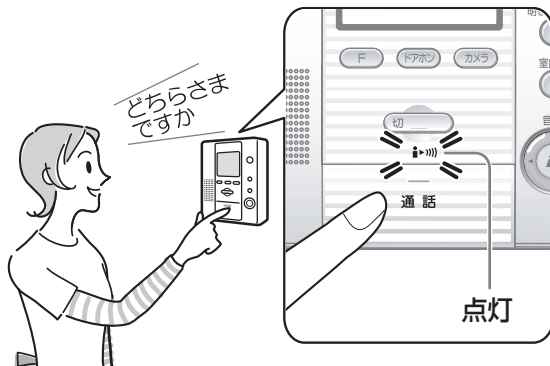
周囲が騒がしく通話しにくいとき（プレストーク通話に切り替える）

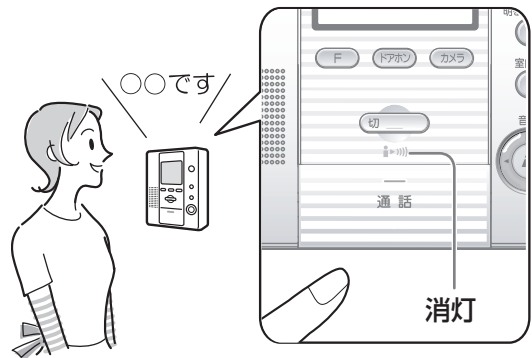
【通話】ボタンを使って、送話と受話を切り替えて交互に通話する「プレストーク通話」に切り替えると、話しやすくなります。（ドアホン親機でも別売の子機でも同じ操作でできます）

1 通話中に、**【通話】**を 2 秒以上押す

●「ピッ」と鳴る（ドアホン親機は「P」を表示、別売の子機は [P] を表示）

2 話すとき（送話）

【通話】を押したまま話す

話を聞くとき（受話）

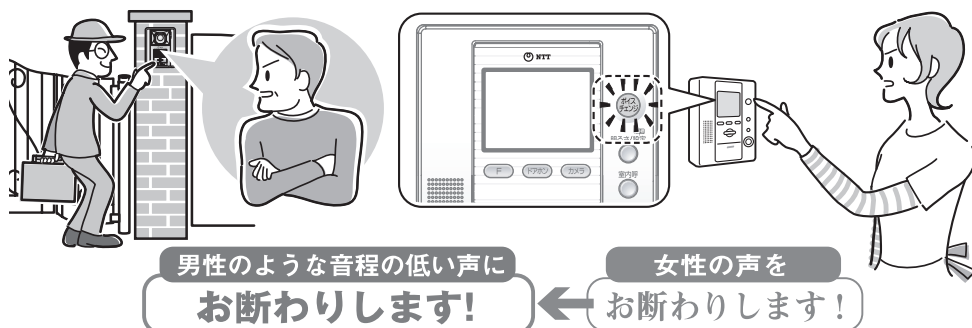
【通話】から指を離す

お知らせ

- 【通話】を押している間は、相手の声が聞こえません。
- 通話終了後、プレストーク通話は解除されます。
- 室内通話中や別売のカメラとの通話中も、この機能が使えます。
- 別売の子機の 2.4 G デジタルコードレス電話機「P3」は、この機能が使えません。

声を変えて話す（ボイスチェンジ）

女性などの高い声を男性のような低い声に変えて話すことができます。（ドアホン親機でも別売の子機でも同じ操作でできます）

1 着信中または通話中に、**【ボイスチェンジ】**を押す

●【ボイスチェンジ】ボタンが点灯（再度押すと消灯し、元の声に戻る）

お知らせ

- ボイスチェンジの声の高さは、設定により変更できます。（☞ 43 ページ）
- 通話終了後、ボイスチェンジは解除されます。
- 別売のカメラにも、この機能が使えます。
- 別売の子機の 2.4 G デジタルコードレス電話機「P3」は、着信中にボイスチェンジできません。
（通話中はボイスチェンジできます）

呼び出しに応答する

声で応答する（音声応答）

【通話】ボタンを押さずに応答できるので、手が離せないときなどに便利です。（ドアホン親機でも別売の子機でも同じ操作でできます）
あらかじめ設定が必要です。（☞ 43 ページ）

1 呼出音が鳴ったら、**「はーい」などの声で応答する**

● 「ピッ」と鳴ったら、相手と話しができる

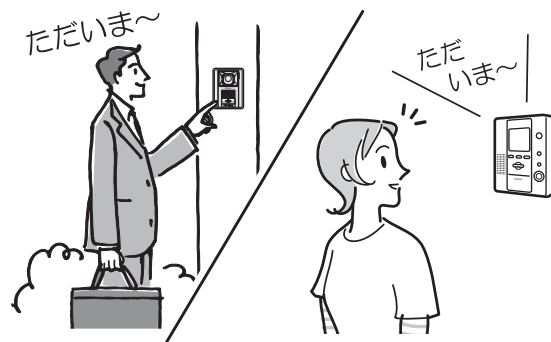
お知らせ

● 応答時の「はーい」などの声は相手に聞こえません。
● 「はーい」を伸ばしすぎる（約 1 秒以上）と、応答できません。
● 周囲の音（ペットの鳴き声やテレビなど）が大きいと、呼び出しに応答してしまうことがあります。
● 別売の子機をドアホン親機の近くに置いているときは、お互いの呼出音で呼び出しに応答してしまうことがあります。
● 別売の子機を増設している場合には、室内通話にもこの機能が使えます。
● 別売の子機の 2.4 G デジタルコードレス電話機「P3」は、この機能が使えません。

帰ったことを家族に知らせる（ただいまコール）

室内の相手が応答しなくても、ドアホンから「ただいま」などとドアホン親機に呼びかけできます。

1 **ドアホンの呼出ボタンを 3 秒以上押しながら、呼びかける**

● ドアホン親機にのみ呼びかけが聞こえる
（別売の子機でも呼出音が鳴って映像が映りますが、呼びかけは聞こえません）

2 終わったら、**呼出ボタンから指を離す**

お知らせ

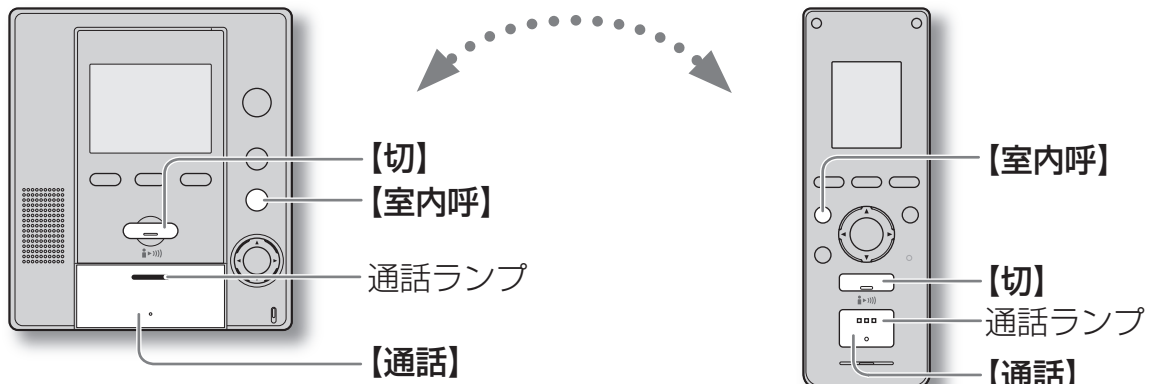
● 手順 1 で、呼出ボタンを押すと同時に話し始めると、話の最初が途切れます。
● 室内で、ただいまコールに応答するには
➡ **【通話】**を押し、話す
（ドアホン親機では、音声応答に設定していても、声で応答することはできません）

通話を転送する

ドアホンとの通話を、ドアホン親機・子機(別売)の間で転送できます。

● どちらから転送する場合も、操作は同じです。
● 別売の子機を 2 台以上増設しているときは、子機間での転送もできます。

転送する側 **転送先**

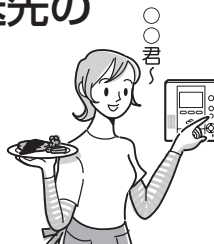
1

転送する側

ドアホン通話中に、

【室内呼】を押し、転送先の相手に呼びかける

● ドアホンの映像が消え、通話ランプが点滅

○○君〜

転送先

「プー」音や呼びかけが聞こえたら、

【通話】を押し、室内の相手と話す

は〜い

2

転送する側

通話を転送することを伝え、【切】を押す

● 室内通話が切れ、転送先の相手がドアホンと通話できる

転送先

ドアホン側の相手と話す

● ドアホンの映像が映る
● 終わったら、【切】を押す

お知らせ

● ドアホンとの通話は、電話機またはファクスへ転送できません。
● 室内通話中の音声は、ドアホン側の相手には聞こえません。
● 転送先の相手が出ないときや室内通話中に、ドアホンとの通話に戻るには
 ➡ 【通話】を押す
● 別売の子機を 2 台以上増設しているときは、手順 1 で一斉に呼びかけが聞こえます。

別売の子機を 2 台以上増設すると個別呼び出しができます

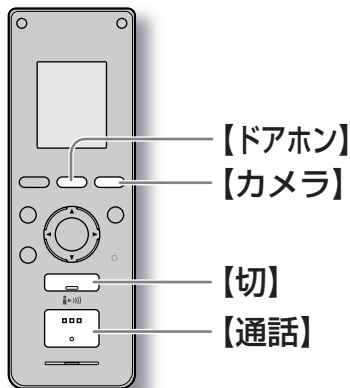
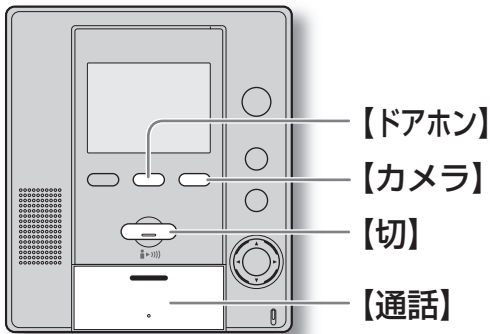
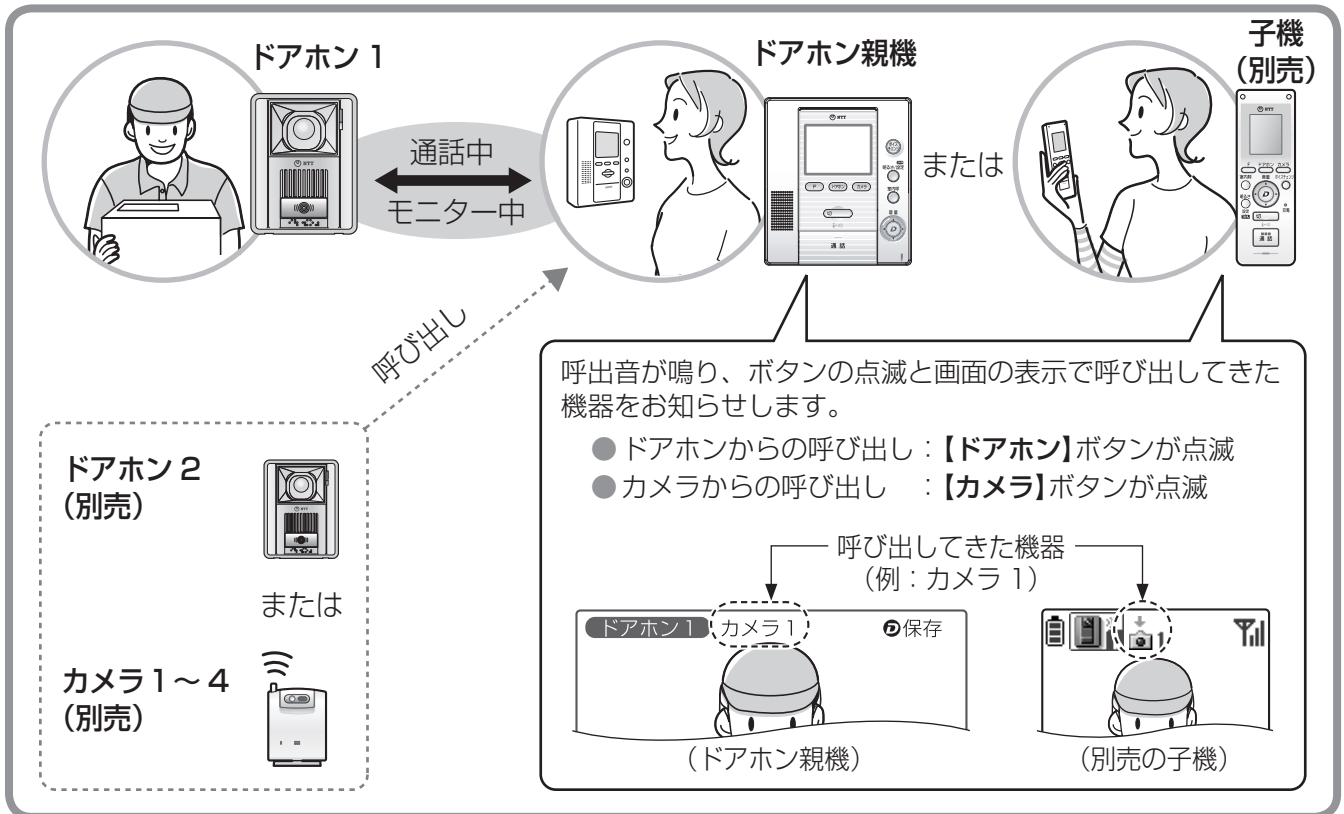
ドアホン親機の機能「室内呼出」設定を「一斉／個別」に設定すると、下記の手順で個別に呼び出して転送することができます。お買い求め時は「一斉」に設定されています。(☞ 43 ページ)

① ドアホン通話中に、【室内呼】を押し、【▼】【▲】で転送先を選ぶ
②【D】を押し、呼びかける
 ➡ 指定した相手にだけ呼びかけが聞こえる
③ 相手が出たら、通話を転送することを伝え、【切】を押す
 ➡ 転送先の相手がドアホンと通話できる

(例：ドアホン親機から子機 1 に転送するとき)

＊＊室内呼(保留)＊＊
一斉
子機 1
子機 2
子機 3
子機 4

呼び出しに応答する

通話中やモニター中に別の呼び出しがあったとき

子機（別売）

呼び出しに応答するとき

1 **点滅している【ドアホン】または【カメラ】を押す**

- 映像が切り替わり、周囲の音が聞こえる
  （こちらの声は相手側には聞こえません）

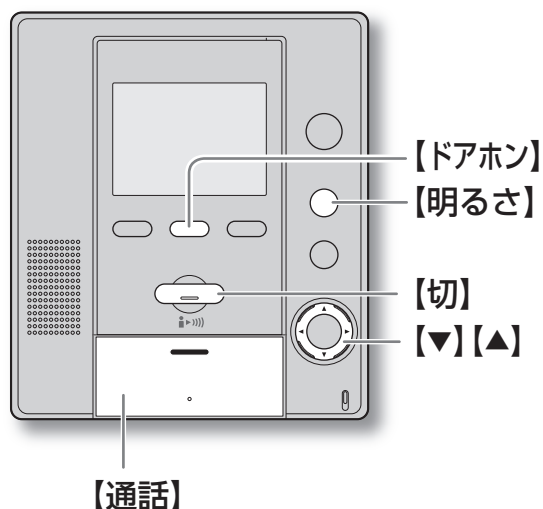
■ **相手と話すには**
➡ **【通話】**を押す

2 終わったら、
【切】を押す

お知らせ

- 通話中やモニター中に別の呼び出しがあったときは、通話中またはモニター中の機器で応答してください。他の機器では応答できません。
- 別の呼び出しに応答したあと、最初に通話またはモニターしていたドアホンに戻るには
  ➡ 29 ページの手順 1 から操作してください。

外の様子を確認する

玄関先の様子を映像と音で確認できます。（ドアホン親機でも別売の子機でも同じ操作でできます）

【ドアホン】を押す

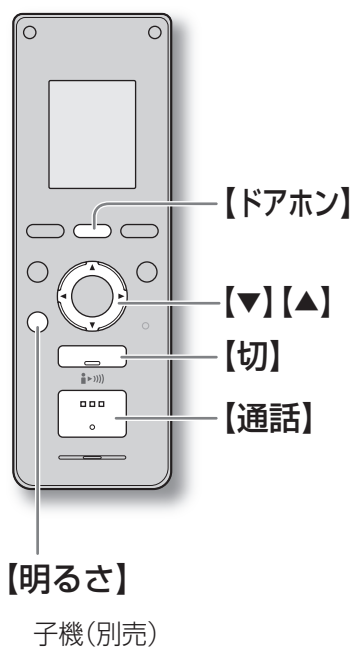
● 玄関先の様子が映り、周囲の音が聞こえる
（こちらの声はドアホン側には聞こえません）

■ **ドアホン側の相手と話すには**
➡ **【通話】**を押す

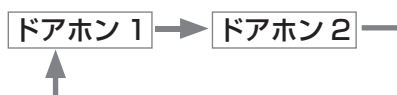
■ **通話中の音量を変えるには**
➡ **【▼】**または**【▲】**を押す

■ **画面の明るさを変えるには**
➡ **【明るさ】**を押す（ ☞ 13、16 ページ）

終わったら、

【切】を押す

子機（別売）

ドアホンが 2 台あるとき

手順 1 で、【ドアホン】を繰り返し押し、確認したいドアホンを選ぶ

お知らせ

● 夜間など、ドアホン側が暗いときは白黒映像になります。
● モニターは約 90 秒で自動的に終了します。

〔電話機またはファクスからドアホンへ呼びかけるとき〕
● U －ドアホンボックス（別売）の接続が必要です。（ ☞ 57 ページ）
● 電話機やファクスからドアホンに呼びかけることができます。外の様子はドアホン親機で確認することができます。（呼びかけかたは、電話機やファクスの取扱説明書を参照してください）
● ドアホンを 2 台接続しているとき、電話機やファクスからドアホンを呼び出したときには、直前に着信、通話またはモニターしたドアホンを呼び出します。別のドアホンを呼び出して通話することはできません。

〔別売のドアホンやカメラを増設してご使用のとき〕
● モニター中に別のドアホンやカメラから呼び出されたら（ ☞ 28 ページ）

カメラ(別売)を使ってできること

別売のカメラを増設すると、下記のような使いかたができます。
「安全にお使いいただくために必ずお読みください」(☞ 8 ページ)に記載されている、設置場所や人感センサーの検知範囲などを十分ご理解のうえ、ご使用ください。

別の部屋の様子などを確認できます

※ 画質はドアホンよりも多少劣ります。

(別売の子機増設時)

人感センサーが反応して、呼出音と映像でお知らせします

センサー反応時に 1 枚、その後約 3 秒おきに 3 枚(計 4 枚)の映像を自動で録画します。
留守などで応答できなかったときも録画されるので、あとで確認できます。(☞ 34、36 ページ)

(別売の子機増設時)

ドアホン親機の画面表示について

お買い求め時は、右記のような 4 画面表示で 4 つの映像を次々に更新していきます。(動画ではありません)
画面全体に 1 つの映像を表示(1 画面表示)して更新させることもできます。(☞ 43 ページ「カメラ表示数」)

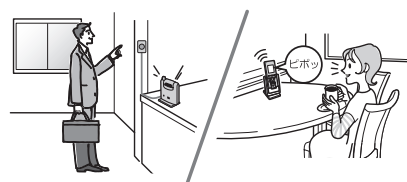
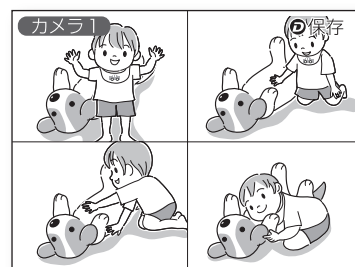
● ただし、映像を引き伸ばして表示するため画質は低下します。

(4画面表示)

カメラ1 保存

コールボタン(市販品)を接続して使う

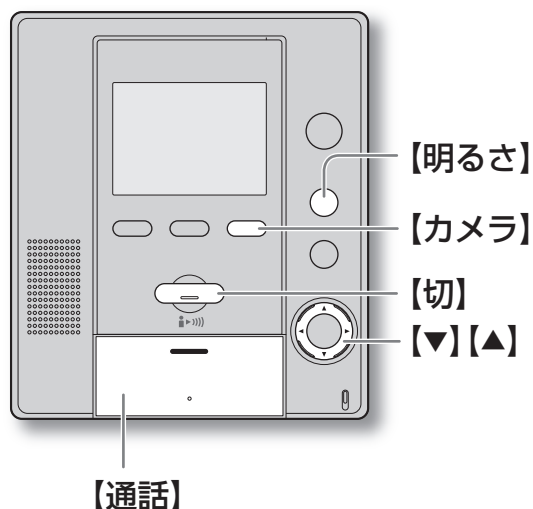
コールボタンを押すことで、カメラ側からの呼び出しができるようになります。(ただし、人感センサーははたらかなくなります)
コールボタンが押されてからのカメラの動作は、『センサー種別』で設定します。(☞ 44 ページ「センサー種別」)

● 接続できるコールボタンおよびその接続工事については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

お知らせ

● カメラからの映像を拡大して表示できます。(あらかじめ設定が必要です ☞ 44 ページ「ズーム」)
● 人感センサー反応時は、カメラ側でも音(カメラ出力音)が鳴ります。
カメラ出力音の種類や音量は変更できます。(☞ 44 ページ)
● 一度センサーが反応すると、約 60 秒間は次の反応を行いません。
時間間隔は変更できます。
● センサー反応時に自動録画しないよう設定することもできます。

} ☞ 44 ページ「センサー種別」

カメラ周辺の様子を確認する

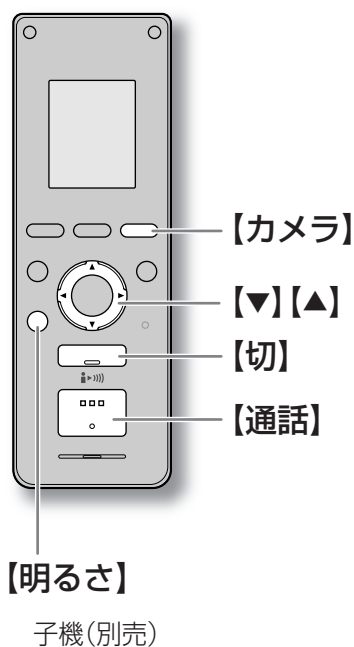
別売のカメラを設置した場所のまわりの様子を、映像と音で確認できます。
（ドアホン親機でも別売の子機でも同じ操作でできます）

【カメラ】を押す

● カメラ側の様子が映り、周囲の音が聞こえる
（こちらの声はカメラ側には聞こえません）

■ **カメラ側の相手と話すには**
➡ **【通話】**を押す

■ **通話中の音量を変えるには**
➡ **【▼】**または**【▲】**を押す

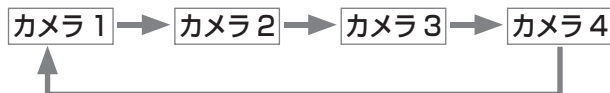
■ **画面の明るさを変えるには**
➡ **【明るさ】**を押す（☞ 13、16 ページ）

子機（別売）

終わったら、

【切】を押す

カメラが 2 台以上あるとき

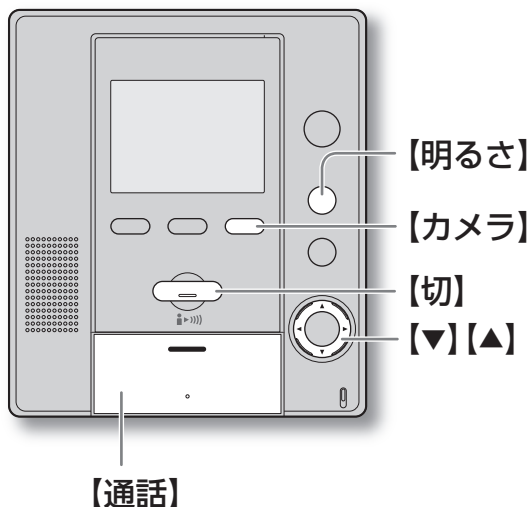
手順 1 で、【カメラ】を繰り返し押し、確認したいカメラを選ぶ

（例：カメラが 4 台の場合）

お知らせ

● モニターは約 90 秒で自動的に終了します。
● モニター中にドアホンや別のカメラから呼び出されたら（☞ 33 ページ）
● **カメラの画質について（下記のような場合があります）**
- 静止画のため、動いている人がぶれる
- 逆光のとき、人の顔が暗くなる
- 色合いが、実際の色と異なる
- 蛍光灯を映すと、周りにかすみがかかったようになる

カメラ(別売)からの呼び出しに応答する

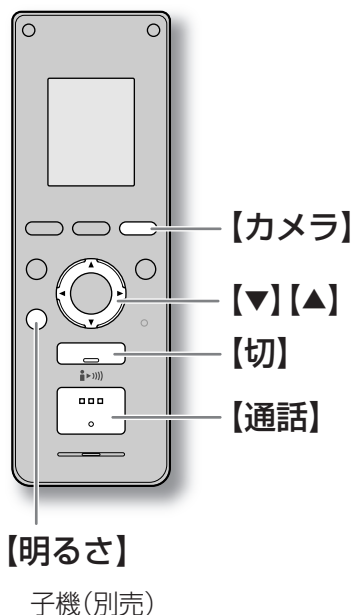
センサーがはたらくと、呼出音が鳴って【**カメラ**】ボタンが点滅し、ディスプレイにカメラの映像が映ります。

子機(別売)

1 呼出音が鳴り、カメラの映像が映ったら、【カメラ】を押す

● カメラ側の音が聞こえる
(こちらの声はカメラ側には聞こえません)

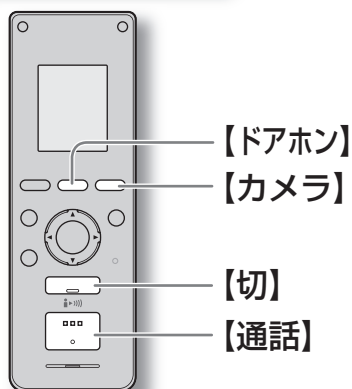
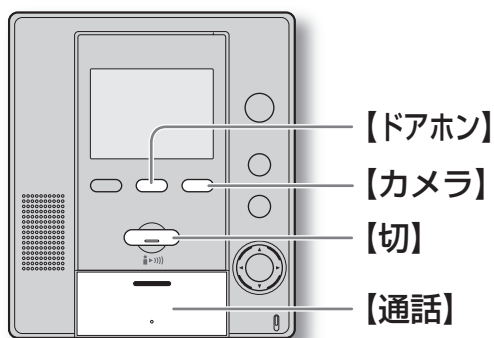
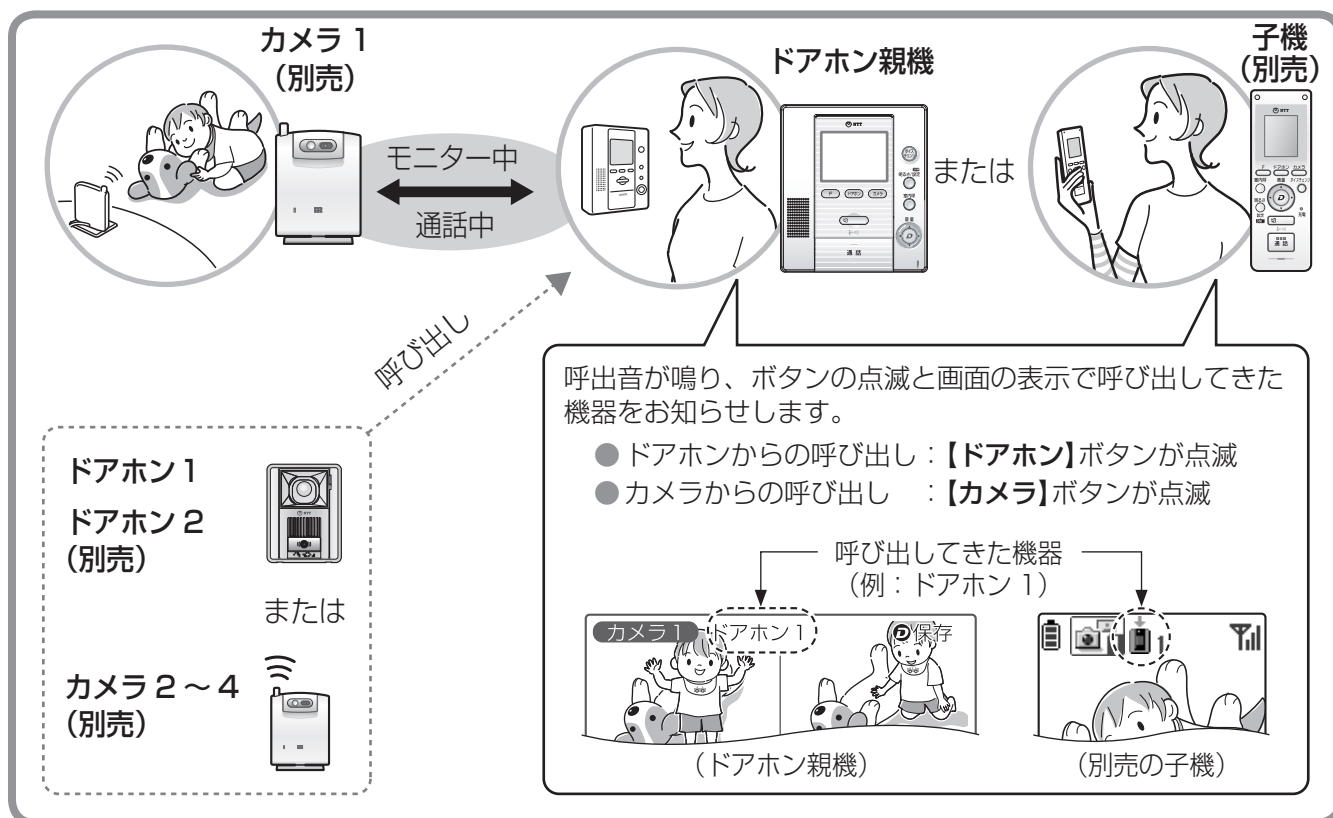
■ **カメラ側の相手と話すには**
➡ 【**通話**】を押す

■ **通話中の音量を変えるには**
➡ 【▼】または【▲】を押す

■ **画面の明るさを変えるには**
➡ 【**明るさ**】を押す(☞ 13、16 ページ)

2 終わったら、【切】を押す

お知らせ

- 呼び出しは約 30 秒、モニターや通話は約 90 秒で自動的に終了し、映像が消えます。
- センサー反応時に 1 枚、その後約 3 秒おきに 3 枚(計 4 枚)の映像を自動で録画します。留守などで応答できなかったときも録画されます。(☞ 34 ページ)
- モニター中など、画面を見ながら手動で録画もできます。(☞ 35 ページ)
- 呼出音の音色や音量は変更できます。(☞ 46 ページ)
- カメラ側から話しかけるときは、カメラのマイクに向かって**約 50 cm 以内**で話してください。
- 周囲が騒がしくて通話しにくいときや声を変えて話したいとき(☞ 25 ページ)
- 着信中にドアホンや別のカメラから呼び出しがあると、あとから呼び出した機器の着信に切り替わります。
- モニター中や通話中に、ドアホンや別のカメラから呼び出されたら(☞ 33 ページ)

モニター中や通話中に別の呼び出しがあったとき

子機（別売）

呼び出しに応答するとき

1 **点滅している【ドアホン】または【カメラ】を押す**

● 映像が切り替わり、周囲の音が聞こえる
（こちらの声は相手側には聞こえません）

■ **相手と話すには**
➡ **【通話】**を押す

2 終わったら、
【切】を押す

お知らせ

● モニター中や通話中に別の呼び出しがあったときは、モニター中または通話中の機器で応答してください。他の機器では応答できません。
● 別の呼び出しに応答したあと、最初にモニターまたは通話していたカメラに戻るには
➡ 31 ページの手順 1 から操作してください。

録画する

ドアホンやカメラ(別売)の映像を合計 100 枚まで、ドアホン親機に録画(保存)できます。
カメラをご使用のときは、録画枚数をドアホン(30 枚)とカメラ(70 枚)に分けることもできます。
(☞ 45 ページ「録画枚数振分」)

自動録画

待ち受け中に着信があると、下記のタイミングで自動的に録画します。
(留守中などで応答しなかったときも録画します)

ドアホンの場合

着信してから約 2 秒後の映像を 1 枚録画する

● 録画枚数は「4 枚」に変更できます。(☞ 45 ページ「ドアホン録画数」) 1 枚目を録画後、約 3 秒おきに 2 ～ 4 枚目を録画します。

カメラ(別売)の場合

人感センサー反応時に 1 枚、その後約 3 秒おきに 3 枚(計 4 枚)の映像を録画する

お知らせ

● 通話中やモニター中に着信があると、その着信に応答しないと録画されません。
応答すると下記のタイミングで録画します。
- ドアホンからの着信の場合 ：【**ドアホン**】を押してから表示される映像を 1 枚または 4 枚録画する
- カメラからの着信の場合 ：【**カメラ**】を押してから表示される映像を 4 枚録画する
(1 枚目は人感センサー反応時の映像です)

● 自動録画しないように変更できます。
(☞ 45 ページ「ドアホン自動録画」、☞ 44 ページ「センサー種別」)

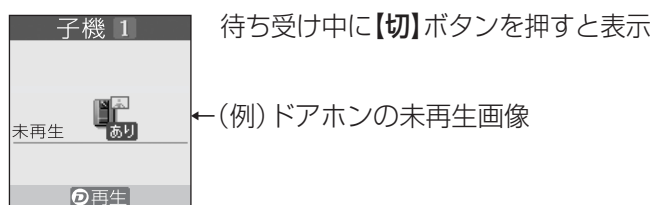
● 録画中に別の機器から着信があると、4 枚録画できないことがあります。(最低 1 枚は録画されます)

● **留守などで応答しなかったときは、未再生画像として録画されていることを下記のようにお知らせします。**

ドアホン親機：【**D**】ボタンの点滅でお知らせ

別売の子機：画面表示でお知らせ

待ち受け中に【**切**】ボタンを押すと表示

←(例) ドアホンの未再生画像

- 画像を再生するには(☞ 36 ページ)
- ドアホン親機の【**D**】ボタンを押すと消灯し、再生画面になります。
- ドアホン親機の【**D**】ボタンは、点滅させないようにしたり、ドアホンまたはカメラのどちらかの未再生画像があるときのみ点滅させるよう変更することもできます。(☞ 43 ページ「再生キー点滅」)

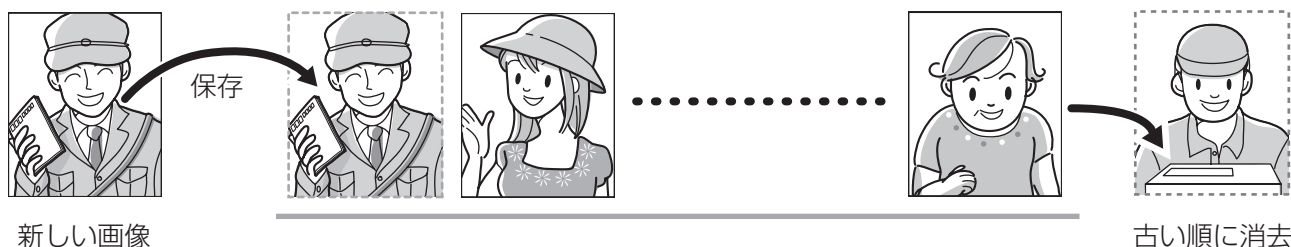
画像の自動更新について

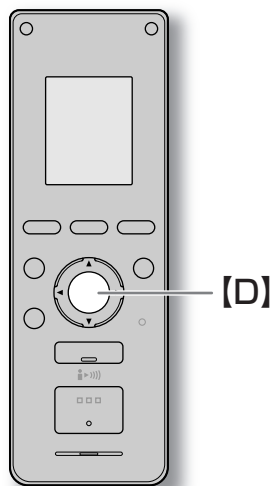
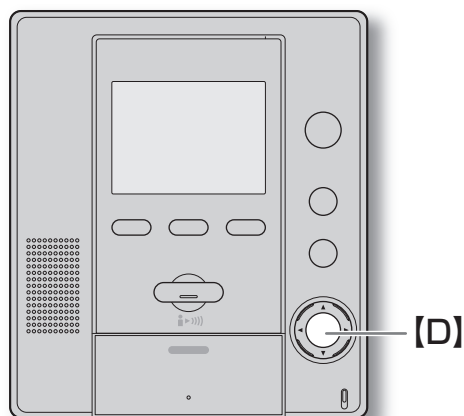
画像が 100 枚保存されているときに、新しい画像を保存すると、一番古い画像(未再生を含む)を自動で消去します。

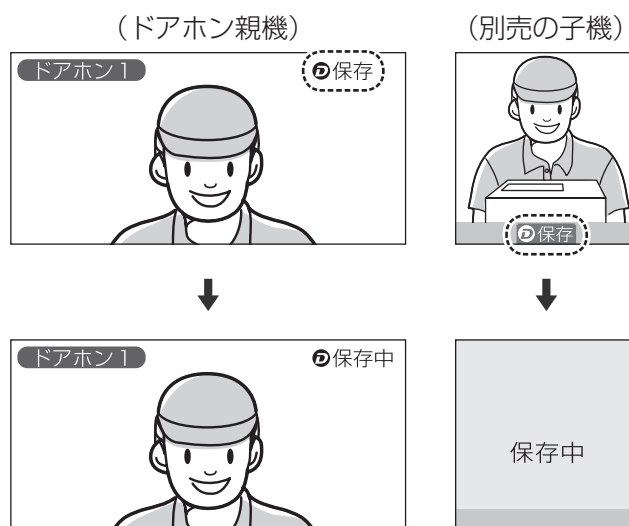
保存可能枚数(100 枚)

保存

新しい画像

古い順に消去

手動録画

着信中、通話中、モニター中の映像を、必要に応じて録画できます。（ドアホン親機でも別売の子機でも同じ操作でできます）

1 画面に「保存」と表示しているときに、

【D】を押す

お知らせ

- 【D】を押してから録画されるまで時間差が生じます。このため、【D】を押したときの映像と実際に録画された映像が異なることがあります。
- 画像保存中は、映像の動きが遅くなることがあります。

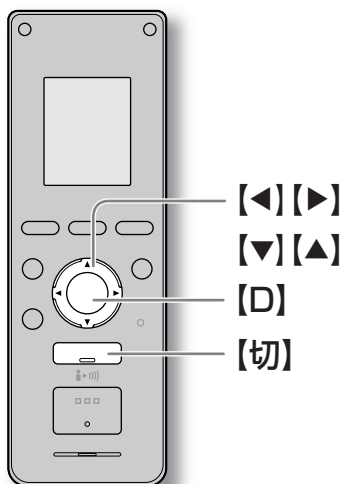
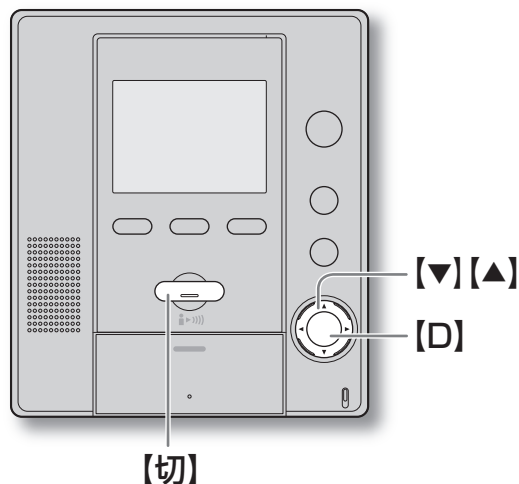
お知らせ

- 消去したくない画像は保護できます。（☞ 36 ページ）
- **録画枚数振分を「する」に設定しているとき（☞ 45 ページ）**

➡ ドアホン画像とカメラ画像は、それぞれの画像ごとに自動更新されます。

（例）ドアホン画像が 30 枚、カメラ画像が 70 枚のとき
新しくドアホン画像を保存すると･･･
↓
ドアホン画像の一番古いものを消去

再生する

録画した画像を確認できます。（ドアホン親機でも別売の子機でも同じ操作でできます）

子機（別売）

1 待ち受け中に、

【D】を押し、【▼】【▲】で再生したい画像の項目を選ぶ

「ドアホン未再生」：応答しなかったときのドアホン画像（ドアホン親機は枚数も表示）
「ドアホン」：すべてのドアホン画像
「カメラ未再生」：応答しなかったときのカメラ画像（ドアホン親機は枚数も表示）
「カメラ」：すべてのカメラ画像

● 画像がない項目は、グレー表示で選べない

2

【D】を押し、画像を確認する

■ 別の画像に切り替えるには
➡【▼】または【▲】を押す

- 【▼】を押すごとに、新しい順に表示する
- 押し続けると、早送り／早戻しになって録画日時のみを表示し、指を離すと画像を表示する

● 画面表示の見かた（☞ 37、38 ページ）
● 子機で画像表示中に【◀】または【▶】を押すと、画像が少し左右に移動する

3 終わったら、

【切】を押す

画像を保護する

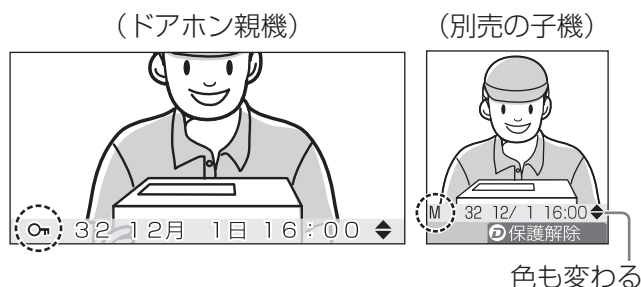
画像再生中に、消去したくない画像を最大 20 枚まで保護できます。

1 画面に「🅓 保護設定（する）」と表示しているときに、**【D】を押す**

● ドアホン親機は「O┳」、別売の子機は「M」を表示する
● **保護解除するには**
➡ 再度【D】を押す（「O┳」または「M」が消える）

（ドアホン親機）　（別売の子機）

32 12月 1日 16：00

色も変わる

2 終わったら、**【切】を押す**

お知らせ

● 4 枚（1 セット）で録画された画像は、そのうちの 1 枚を保護設定すると 4 枚すべてが保護されます。ただし、保護した枚数は 1 枚分になります。

■ ドアホン画像の再生画面

ドアホン録画数の設定（☞ 45 ページ）	
「1 枚」：お買い求め時	「4 枚」

ドアホン親機

● ：未再生画像
O┳ ：保護画像

●4 枚録画できなかったときは、録画できた画像のみが表示され、それ以外は真っ黒になります。

子機（別売）

●：未再生画像
M：保護画像

●4 枚録画できなかったときは、【▼】を押したときに「保存中断あり 次の画像です」と表示され、次の画像を表示します。

※1 1 枚目：着信して約 2 秒後の画像

※2 2 ～ 4 枚目：1 枚目を録画後、約 3 秒おきの画像

再生する

■ カメラ画像の再生画面

カメラ表示数の設定（☞ 43 ページ）

「4 画面」：お買い求め時	「1 画面」

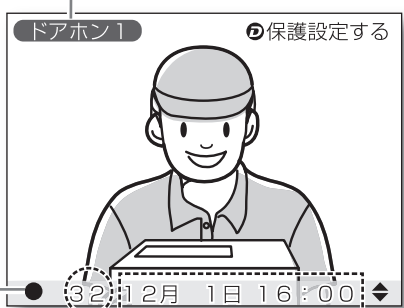
ドアホン親機

「4 画面」：お買い求め時

録画した機器（カメラ 1 ～ 4）

1 枚目※1　2 枚目※2　3 枚目※2　4 枚目※2

カメラ 1　保護設定する

● 32 12月 1日 16：00

録画番号（1 ～ 100）

録画日時

● ：未再生画像

O┳ ：保護画像

●4 枚録画できなかったときは、録画できた画像のみが表示され、それ以外は真っ黒になります。

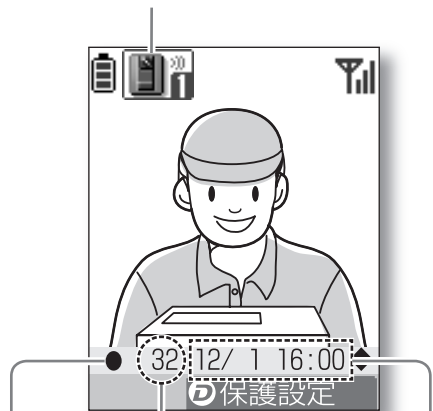
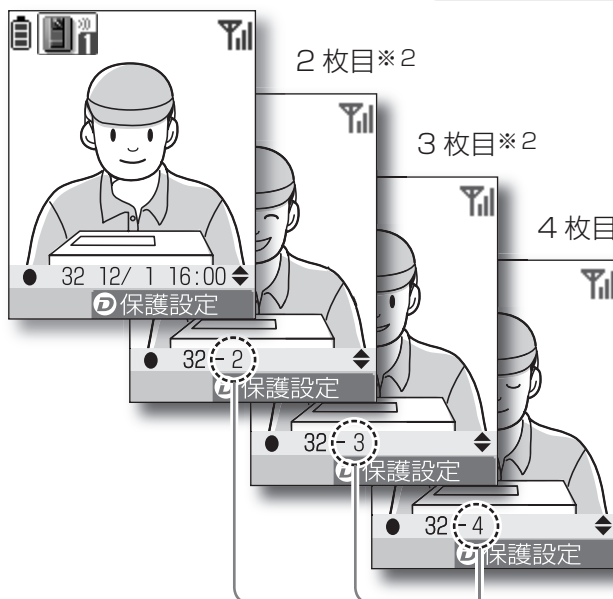
「1 画面」

4 枚で 1 セット

1 枚目※1　2 枚目※2　3 枚目※2　4 枚目※2

カメラ 1　保護設定する

● 32 12月 1日 16：00

32-2　32-3　32-4

1 セットの中の何枚目かを表示

●4 枚録画できなかったときは、【▼】を押したときに「保存中断あり 次の画像です」と表示され、次の画像を表示します。

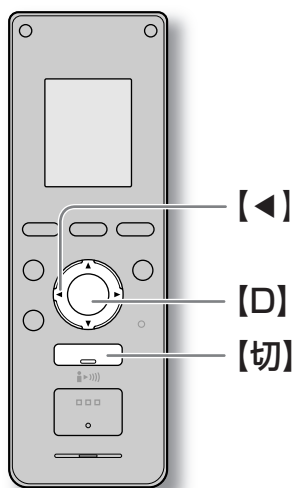
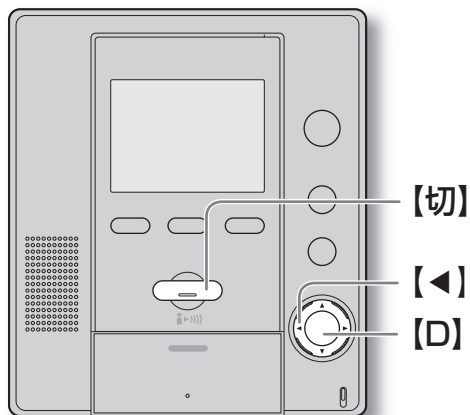
子機（別売）

●4 枚録画できなかったときは、【▼】を押したときに「保存中断あり 次の画像です」と表示され、次の画像を表示します。

※1　1 枚目：センサー反応直後の画像

※2　2 ～ 4 枚目：1 枚目を録画後、約 3 秒おきの画像

消去する

不要な画像を選んで消すことができます。（ドアホン親機でも別売の子機でも同じ操作でできます）

子機（別売）

画像再生中に、

【D】を 2 秒以上押す

● 再生のしかた（ ☞ 36 ページ）

（1 枚画像のとき）

消去しますか
◀はい　▶いいえ

（4 枚画像のとき）

連続画像あり
消去しますか
◀はい　▶いいえ

4 枚のうち、どれか 1 枚を消去すれば、4 枚とも消える。

【◀】を押す

● 画像を消去し、次の画像を表示する

3

終わったら、

【切】を押す

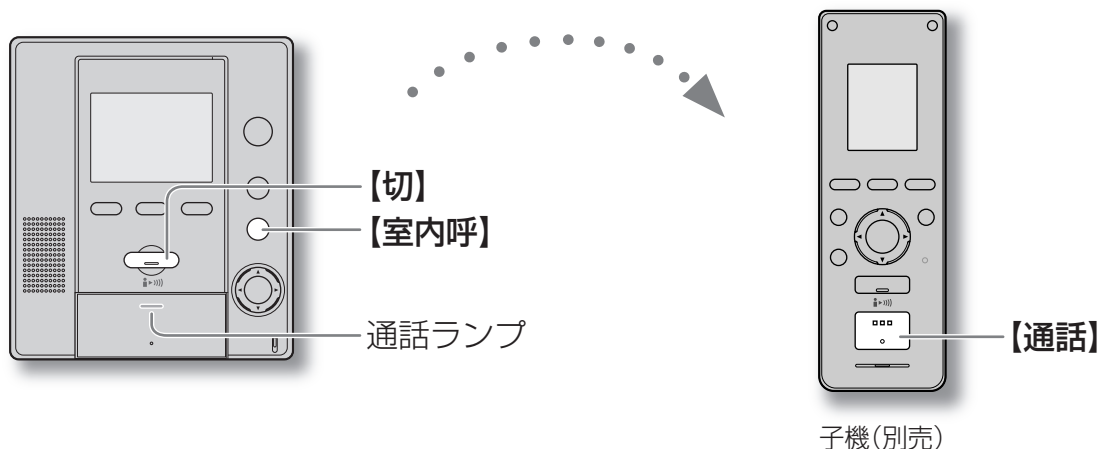
お知らせ

- 画像はすべてドアホン親機に録画（保存）されているため、別売の子機で消去した画像は、ドアホン親機からも消去されます。
- 保護画像を消去しようとすると、「保護画像です　保護を解除してください」と表示します。
  先に保護を解除してください。（ ☞ 36 ページ）
- すべての画像（未再生画像や保護画像を含む）を一度に消去することもできます。
  （ ☞ 45 ページ「画像全消去」）

室内の相手と話す（室内通話）

ドアホン親機と別売の子機で通話ができます。（相手の映像は映りません）

ドアホン親機から呼び出す

子機（別売）

呼び出す側（ドアホン親機） ➡ **受ける側（別売の子機）**

1 待ち受け中に、

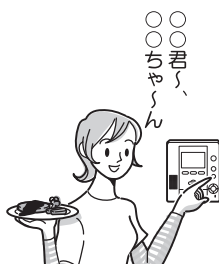
【室内呼】を押し、呼びかける

● 通話ランプが点灯

「プー」音や呼びかけが聞こえたら、

【通話】を押す

2 相手が出たら、

話す

相手と話す

3 終わったら、**【切】を押す**

● 相手側も切れる

お知らせ

- ドアホン親機から電話機またはファクスの呼び出しや通話はできません。
- 通話は約 90 秒で自動的に終了します。
- 別売の子機を 2 台以上増設しているときは、手順 1 で一斉に呼びかけが聞こえます。

室内通話中にドアホンやカメラ（別売）から呼び出されたとき

① **【切】**を押して室内通話を終了する
② 呼び出しに応答する（ドアホンの場合 ☞ 24 ページ、カメラの場合 ☞ 32 ページ）

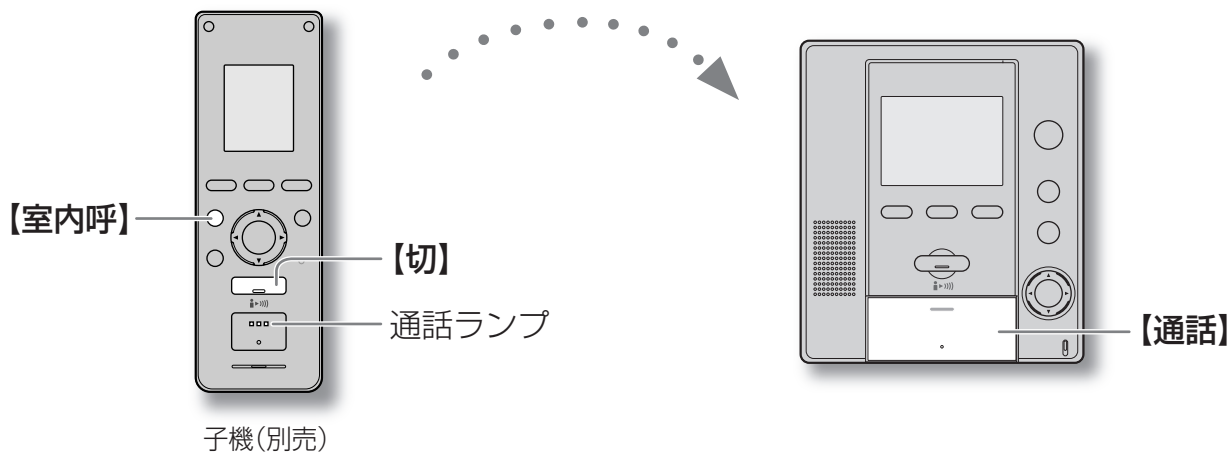
別売の子機を 2 台以上増設するとドアホン親機からの個別呼び出しができます

ドアホン親機の機能「室内呼出」設定を「一斉／個別」に設定すると、下記の手順で個別に呼び出すことができます。お買い求め時は「一斉」に設定されています。（☞ 43 ページ）

① **【室内呼】**を押し、**【▼】【▲】**で呼び出す相手を選ぶ
② **【D】**を押し、呼びかける
　➡ 指定した相手にだけ呼びかけが聞こえる
③ 相手が出たら、話す

（例：ドアホン親機から子機 1 を呼び出すとき）

子機（別売）から呼び出す

●別売の子機を 2 台以上増設しているときは、同じ操作で他の子機も呼び出せます。

子機（別売）

呼び出す側（別売の子機）

受ける側（ドアホン親機 または 他の子機）

1

待ち受け中に、

【室内呼】を押し、呼びかける

●通話ランプが点灯

「プー」音や呼びかけが聞こえたら、

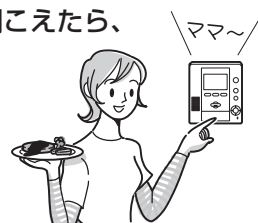
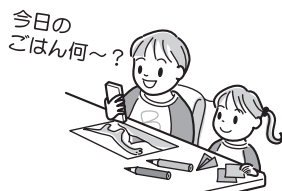
【通話】を押す

2

相手が出たら、

話す

相手と話す

3

終わったら、【切】を押す

●相手側も切れる

お知らせ

● 子機（別売）から電話機またはファクスの呼び出しや通話はできません。
● 通話は約 90 秒で自動的に終了します。
● 別売の子機を 2 台以上増設しているときは、手順 1 で一斉に呼びかけが聞こえます。

室内通話中にドアホンやカメラ（別売）から呼び出されたとき

① 【切】を押して室内通話を終了する
② 呼び出しに応答する（ドアホンの場合 ☞ 24 ページ、カメラの場合 ☞ 32 ページ）

別売の子機を 2 台以上増設すると子機からの個別呼び出しができます

子機（別売）の機能「室内呼出」設定を「一斉／個別」に設定すると、下記の手順で個別に呼び出すことができます。お買い求め時は「一斉」に設定されています。（☞ 43 ページ）

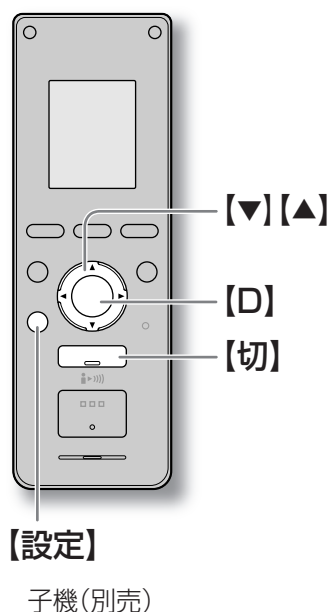
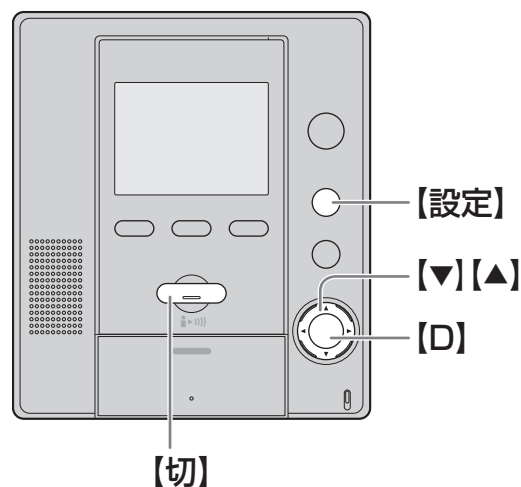
① 【室内呼】を押し、【▼】【▲】で呼び出す相手を選ぶ
② 【D】を押し、呼びかける
　➡ 指定した相手にだけ呼びかけが聞こえる
③ 相手が出たら、話す

（例：子機 1 からドアホン親機を呼び出すとき）

機能設定を変える（機能設定一覧表）

設定のしかた

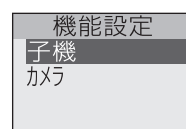
使いかたに合わせて、「親機」「子機」「カメラ」「その他」の機能（☞ 43 ～ 45 ページ）を変更・設定できます。
「親機」「その他」の設定はドアホン親機で、「子機」の設定は別売の子機で行います。
「カメラ」の設定は、ドアホン親機でも子機でもできます。
● 設定中に着信があったときや、約 90 秒間操作を行わなかったときは、設定が中断されます。

子機（別売）

待ち受け中に、

【設定】を３秒以上押す

（ドアホン親機）

＊＊機能設定＊＊
親機
カメラ
その他

（別売の子機）

【▼】【▲】で設定を変えたい項目（ 親機 / カメラ / 子機 / その他 ）を選び、【D】を押す

■ カメラ を選んだとき

➡ 続けて【▼】【▲】で設定を変えたいカメラ番号を選び、【D】を押す

【▼】【▲】で変更したい機能を選び、【D】を押す

【▼】【▲】で設定内容を選び、【D】を押す

● 変更する機能によっては、画面の表示に従ってこの操作を繰り返す

設定が終わったら、

【切】を押す

ドアホン親機の機能

42 ページの手順 2 で「親機」を選んだときに設定できる機能です。

[網掛け] のついている内容が、お買い求め時の設定です。

機　能	機能の概要と設定内容
音声応答	ドアホンや別売の子機からの呼び出しに、**【通話】**ボタンを押さずに「はーい」などの音声で応答する（カメラからの呼び出しには応答できません） ON、OFF ● 音声応答のしかた（☞ 26 ページ） ●「ON」を選んでも、**【通話】**ボタンを押して応答することができる
室内呼出	室内呼び出しで、すべての子機を呼び出すときは「一斉」、個別呼び出しもできるようにするときは「一斉 / 個別」を選ぶ 一斉、一斉 / 個別
ボイスチェンジ	ボイスチェンジの声の高さを選ぶ 通常、低め
録画日時表示	録画日時を、再生画像内に常時表示するか 3 秒間のみ表示するかを選ぶ 常時、3秒表示
再生キー点滅	ドアホンや別売のカメラの未再生画像があるとき、ドアホン親機の**【D】**ボタンを点滅させる OFF（点滅しない）、ドアホン、カメラ、ドアホン / カメラ ●「ドアホン」：ドアホンの未再生画像があるときのみ点滅する 「カメラ」：カメラの未再生画像があるときのみ点滅する 「ドアホン / カメラ」：どちらかの未再生画像があるときに点滅する
カメラ表示数	カメラの映像や再生画像を「1 画面」で表示するか、「4 画面（4 分割）」で表示するかを選ぶ 1 画面、4 画面

子機（別売）の機能

42 ページの手順 2 で「子機」を選んだときに設定できる機能です。

[網掛け] のついている内容が、お買い求め時の設定です。

機　能	機能の概要と設定内容
音声応答	ドアホンやドアホン親機からの呼び出しに、**【通話】**ボタンを押さずに「はーい」などの音声で応答する（カメラからの呼び出しには応答できません） ON、OFF ● 音声応答のしかた（☞ 26 ページ） ●「ON」を選んでも、**【通話】**ボタンを押して応答することができる
室内呼出	室内呼び出しで、ドアホン親機やすべての子機を呼び出すときは「一斉」、個別呼び出しもできるようにするときは「一斉 / 個別」を選ぶ 一斉、一斉 / 個別
ボイスチェンジ	ボイスチェンジの声の高さを選ぶ 通常、低め
録画日時表示	録画日時を、再生画像内に常時表示するか 3 秒間のみ表示するかを選ぶ 常時、3秒表示

（次ページにつづく）

機能設定を変える（機能設定一覧表）

機　能	機能の概要と設定内容
コントラスト	子機のディスプレイの表示が見えにくいとき、 コントラスト(表示濃度)を５段階で調整する (濃い) お買い求め時の設定 →（中央） (薄い)
設定の初期化	子機の設定を、お買い求め時の状態に戻す

カメラ(別売)の機能

42ページの手順２で「カメラ」を選んだときに設定できる機能です。各機能は、カメラ１～４に対して個別に設定できます。

［ ］のついている内容が、お買い求め時の設定です。

機　能	機能の概要と設定内容
カメラ出力音	センサーが反応したときに、カメラから出る音の種類を選ぶ ［音Ａ］、音Ｂ、音Ｃ、音Ｄ ● 音の種類を選ぶとき、選んだ音を確認するには【▶】ボタンを押す
カメラ出力音量	センサーが反応したときに、カメラから出る音の大きさを選ぶ 大、［中］、小、切
センサー種別	センサー反応の種別(人感／外部入力／OFF)と次のセンサー反応までの時間(60秒／20秒／常時)、センサー反応時の自動録画の有無(ON/OFF)を選ぶ ［人感／60秒 自動録画ON］、人感／60秒 自動録画OFF、 人感／20秒 自動録画ON、人感／20秒 自動録画OFF、 外部入力／60秒 自動録画ON、外部入力／60秒 自動録画OFF、 外部入力／20秒 自動録画ON、外部入力／20秒 自動録画OFF、 外部入力／常時 自動録画OFF、OFF（センサー反応しない） ●カメラにコールボタンなどを接続して使うときは、「外部入力」を選ぶ
人感センサー感度	人感センサー（☞８ページ)の感度を選ぶ ［標準］、低 ● 正面方向の検知距離は、「標準」で約５ｍ、「低」で約２ｍになる ● センサーが反応しすぎるときは「低」を選ぶ
カメラマイク感度	モニター中や通話中に、ドアホン親機または別売の子機から聞こえるカメラ側の音の大きさを選ぶ 大、［中］、小、切 ●「切」を選ぶとカメラからの音は聞こえない
カメラ受話音量	ドアホン親機または別売の子機との通話時に、カメラから出る音声の大きさを選ぶ ［大］、中、小
ランプ表示	カメラのランプを常に点灯させるときは「常時」、モニター時や通話時のみ点灯させるときは「通信時」、消灯させておくときは「消灯」を選ぶ ［常時］、通信時、消灯
ズーム	カメラからの映像を拡大するかしないかを選ぶ ［標準］、拡大(約1.6倍)
露出補正	被写体と背景の明るさに大きく差があり、適正な補正が得られないときに調整する (映像が暗くなる)－３、－２、－１、［０(標準)］、＋１、＋２、＋３(映像が明るくなる)
上下反転表示	カメラからの映像を、上下反転するか、しないかを選ぶ する、［しない］
設定の初期化	カメラの設定を、お買い求め時の状態に戻す

その他の機能

42 ページの手順 2 で「その他」を選んだときに設定できる機能です。

□ のついている内容が、お買い求め時の設定です。

機　能	機能の概要と設定内容
日時	現在の日付・時刻を設定する（☞ 23 ページ）
呼出音	ドアホン親機や子機（別売）で鳴る呼出音の種類を選ぶ（☞ 46 ページ） ドアホン 1　：音 1、音 2、音 3 ドアホン 2　：音 1、音 2、音 3 カメラ 1 ～ 4：音 A、音 B、音 C、音 D（増設したカメラごとに設定できる） ● 音の種類を選ぶとき、選んだ音を確認するには【▶】ボタンを押す
鳴り分け	ドアホン親機や子機（別売）ごとに、ドアホンやカメラ（別売）からの着信をさせないように指定する（☞ 47 ページ） ドアホン 1　：ON、OFF ドアホン 2　：ON、OFF カメラ 1 ～ 4：ON、OFF（増設したカメラごとに設定できる） ● 着信させたくないドアホンやカメラは「OFF」を選ぶ
A 接点	呼び出しを光や音でお知らせするチャイムなどをドアホン親機に接続したときは、どのドアホンやカメラ（別売）からの呼び出しに連動させるかを設定する（☞ 49 ページ） ドアホン 1　：ON、OFF ドアホン 2　：ON、OFF カメラ 1 ～ 4：ON、OFF（増設したカメラごとに設定できる） ● 連動させたくないドアホンやカメラは「OFF」を選ぶ
拡張機器	設定は変更しないでください
ドアホン接続	ドアホンの接続を設定する ドアホン 1：あり、なし ドアホン 2：あり、なし ● 使わないドアホンは「なし」を選ぶ
F ボタン	【F】ボタンに登録する機能を選ぶ（☞ 48 ページ） なし、電気錠、機器、文字表示
ドアホン自動録画	ドアホンからの呼び出し時に、映像を自動録画する ドアホン 1：ON、OFF ドアホン 2：ON、OFF
録画枚数振分	録画可能な枚数（最大 100 枚）を、ドアホンとカメラ（別売）で分けることができる する、しない ● 「する」を選ぶと、ドアホン画像は最大 30 枚、カメラ（別売）画像は最大 70 枚になる
ドアホン録画数	ドアホンの録画枚数を選ぶ（ドアホン 1 と 2 の個別設定はできません） 1 枚、4 枚 ● 「4 枚」を選ぶと、自動録画または手動録画時に 4 枚の映像を録画する
録画開始時間	ドアホンからの呼び出し時に、自動録画を開始するタイミングを選ぶ（ドアホン 1 と 2 の個別設定はできません） 標準（約 2 秒）、遅い（約 3 秒） ● 夜間など映像が映りにくいときは「遅い」を選ぶ
中継アンテナ	増設した中継アンテナ（最大 2 台）で、どの機器を中継するかを選ぶ 子機 1、子機 2、子機 3、子機 4、カメラ 1、カメラ 2、カメラ 3、カメラ 4 ● ドアホン親機に登録していない機器はグレー表示となり選べない
画像全消去	廃棄（または譲渡、返却）するときなどに、録画した画像をすべて消去する ● 保護設定している画像も消去する
設定の初期化	「ドアホン親機の機能」「その他の機能」の設定内容と、呼出音量や受話音量を、お買い求め時の設定に戻す ● 録画画像は消去されない ● 画像の保護設定は解除されない ● 「中継アンテナ」の設定は初期化されない

呼出音を変える

ドアホンやカメラ(別売)からの呼出音を変更できます。(室内通話時の呼出音は変えられません)
設定はドアホン親機でのみできます。

●お買い求め時の設定：
ドアホン１「音１」、ドアホン２「音２」、
カメラ１～４「音Ａ」

機　器	音の種類
ドアホン１・２	音１／音２／音３
カメラ１～４	音Ａ／音Ｂ／音Ｃ／音Ｄ

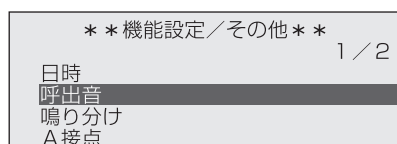
1 待ち受け中に、【設定】を３秒以上押し、【▼】【▲】で その他 を選ぶ

＊＊機能設定＊＊
親機
カメラ
その他

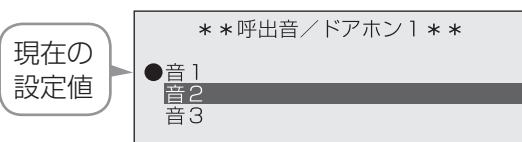
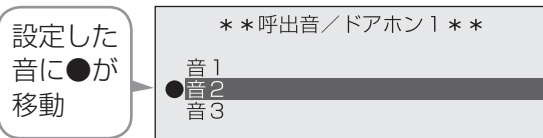
2 【D】を押し、【▼】【▲】で 呼出音 を選ぶ

＊＊機能設定／その他＊＊
１／２
日時
呼出音
鳴り分け
Ａ接点

3 【D】を押し、【▼】【▲】で呼出音を変えたい機器を選ぶ

＊＊呼出音＊＊
ドアホン１
ドアホン２
カメラ１
カメラ２

4 【D】を押し、【▼】【▲】で音を選ぶ
●【▶】を押すと、音が聞ける

現在の設定値

＊＊呼出音／ドアホン１＊＊
●音１
音２
音３

5 【D】を押す

(「ピー」と鳴り、手順３の画面を表示)

6 終わったら、【切】を押す

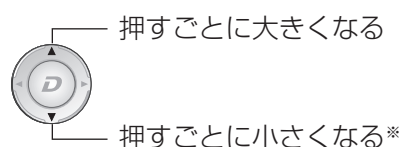
音量を変える

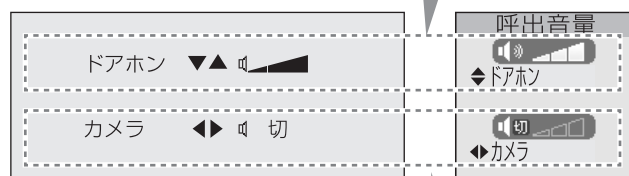
呼出音量

ドアホン親機や子機(別売)でそれぞれ、ドアホンやカメラ(別売)からの呼出音量を変更できます。

ドアホンからの呼出音量を変えるとき

待ち受け中に、【▼】【▲】を押す

押すごとに大きくなる
押すごとに小さくなる※

※「ピピッ ピピッ」と鳴るまで押し続けると、呼出音「切」になる
●「切」を解除するには【▲】を押す

(ドアホン親機)　(別売の子機)

カメラからの呼出音量を変えるとき

待ち受け中に、【◀】【▶】を押す

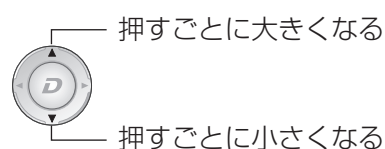
押すごとに小さくなる※
押すごとに大きくなる

※「ピピッ ピピッ」と鳴るまで押し続けると、呼出音「切」になる
●「切」を解除するには【▶】を押す

受話音量

ドアホン親機や子機(別売)でそれぞれ、通話中の音量を変更できます。(３段階)

通話中またはモニター中に、【▼】【▲】を押す

押すごとに大きくなる
押すごとに小さくなる

お知らせ
● 室内呼出や通話を転送するときの呼出音は、受話音量で設定した大きさで鳴ります。

着信させるドアホンやカメラを指定する(鳴り分け)

ドアホン親機や子機(別売)ごとに、着信させたくないドアホンやカメラ(別売)を「OFF」にできます。
設定はドアホン親機でのみできます。
- お買い求め時の設定：すべて「ON」
- 「OFF」にしたドアホンやカメラからは着信しなくなります。

1 待ち受け中に、**【設定】**を３秒以上押し、【▼】【▲】で **その他** を選ぶ

2 【D】を押し、【▼】【▲】で **鳴り分け** を選ぶ

3 【D】を押し、【▼】【▲】で親機または子機を選ぶ

4 【D】を押し、【▼】【▲】で設定する機器を選ぶ

5 【D】を押し、【▼】【▲】で **ON** または **OFF** を選ぶ

6 【D】を押す

(「ピー」と鳴り、手順４の画面を表示)

7 終わったら、**【切】**を押す

お知らせ
- 通話中またはモニター中の着信には、鳴り分け設定がはたらきません。
(上記の設定を「OFF」にしたドアホンやカメラからも着信します)
- ドアホン親機の設定を「OFF」にすると、電話機またはファクスにも着信しません。

【F】ボタンに機能を登録して使う

機能を登録する

【F】ボタンには、下表の中からひとつだけ機能を選んで登録することができます。
設定はドアホン親機でのみできます。

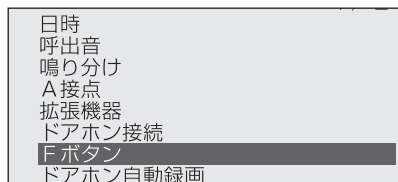
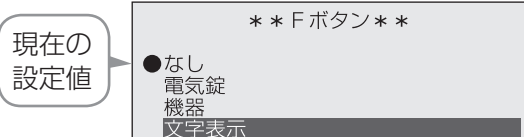
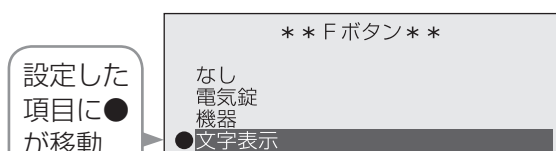
- 「電気錠」を登録するためには、電気錠とその設置工事※1 が必要です
- 「機器」を登録するためには、JEM-A に対応した機器※2（エアコン、シャッターなど）とその接続工事※1 が必要です。

※1 接続・配線工事には、工事担任者資格を必要とします。また、電気錠などの電気工事には電気工事士資格が必要です。接続・配線工事および対応機器については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。
※2 (社)日本電機工業会（JEMA）の統一規格に適合している機器を指します。この規格は、家庭内機器（エアコンなど）の動作／停止などを遠隔制御および監視するための制御端子および信号について規定しています。

機 能	登録後にできること
なし	何も動作しません（お買い求め時の設定）
電気錠	電気錠の施錠 / 解錠
機器	エアコンなどの機器の ON/OFF
文字表示	画像に重なって表示される文字の表示 / 非表示

1 待ち受け中に、【設定】を 3 秒以上押し、【▼】【▲】で その他 を選ぶ

2 【D】を押し、【▼】【▲】で Fボタン を選ぶ

日時
呼出音
鳴り分け
A接点
拡張機器
ドアホン接続
Fボタン
ドアホン自動録画

3 【D】を押し、【▼】【▲】で登録する機能を選ぶ

4 【D】を押す

（「ピー」と鳴り、手順2の画面を表示）

5 終わったら、【切】を押す

【F】ボタンを使う

操作はドアホン親機でも子機（別売）でもできます。

「電気錠」や「機器」を登録した場合

ドアホン親機で操作するとき

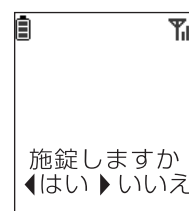
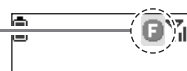
【F】を押す

- 押すごとに施錠・解錠（ON・OFF）する

子機（別売）で操作するとき

【F】を押し、【◀】【▶】で ◀はい または ▶いいえ を選ぶ

（例：電気錠の場合）

電気錠を施錠、または機器が ON の状態のとき

「文字表示」を登録した場合

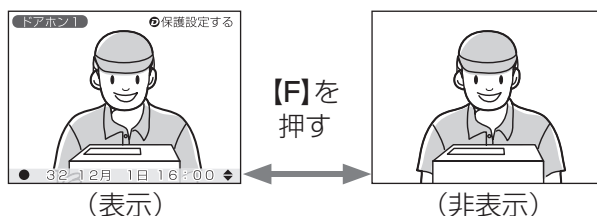
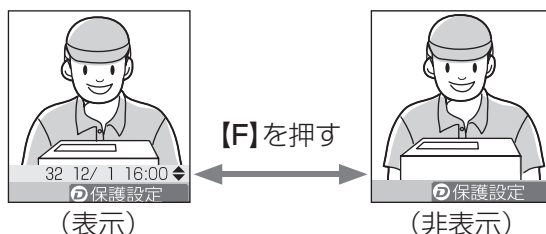
映像（画像）表示中に、【F】を押す

- 押すごとに画面の文字が表示／非表示する
- 子機（別売）では、再生画面でのみはたらきます

〈ドアホン親機の場合〉

（表示）　（非表示）

〈別売の子機の場合〉

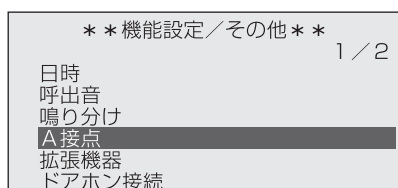
（表示）　（非表示）

メロディや光で着信を知る

ドアホンやカメラ(別売)の着信を光や音でお知らせする、回転灯やチャイムなどの市販機器をドアホン親機に接続したとき※、どのドアホンやカメラからの着信に連動させるかを設定できます。
※ 接続・配線工事には、工事担任者資格を必要とします。接続・配線工事および対応機器については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。

設定はドアホン親機でのみできます。

- お買い求め時の設定:すべて「ON」
- 「OFF」にしたドアホンやカメラからの着信時には、回転灯やチャイムなどがはたらかなくなります。

1 待ち受け中に、**【設定】を3秒以上押し、【▼】【▲】で その他 を選ぶ**

2 【D】を押し、【▼】【▲】で A接点 を選ぶ

3 【D】を押し、【▼】【▲】で設定する機器を選ぶ

4 【D】を押し、【▼】【▲】で ON または OFF を選ぶ

5 【D】を押す

(「ピー」と鳴り、手順3の画面を表示)

6 終わったら、**【切】を押す**

故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に、下記の確認と処置を行ってください。

	症状	確認と処置	参照ページ
ドアホン・カメラ(別売)からの映像	**ドアホンからの映像が白黒になる**	●夜間など、ドアホンの周囲が暗くありませんか？ ➡ ドアホンの周囲が暗い場合、白黒映像になりますが、故障ではありません。	15
	映像がはっきりしない ・焦点が合わない	●ドアホンまたはカメラのパネル(レンズ部)が汚れていませんか？ ➡ パネル(レンズ部)を柔らかい乾いた布でふいてください。	54
		●ドアホンのパネル(レンズ部)が結露していませんか？ ➡ 周囲の温度が常温に戻れば回復します。	—
	画面全体が白っぽい、または黒っぽい	●ディスプレイの明るさは適切ですか？ ➡ **【明るさ】**ボタンを押して調節してください。	13、16
	ドアホンからの映像が白っぽい、または縦線が入る	●ドアホンのレンズに太陽光などの強い光が当たっていませんか？ ➡ 見えにくくなる場合がありますが、故障ではありません。	—
	カメラからの映像の映りが悪い ・赤や緑の点が見える	●カメラの設置場所が暗くありませんか？ ➡ 設置場所を明るくしてください。	—
	カメラからの映像で、人の顔などが暗く映って、見えにくい	●カメラの設置場所に強い日ざしが差し込んでいるときや逆光のとき、または黒いものなどをモニターするときは、被写体が暗くなります。 ➡ 機能設定の『露出補正』で調整してください。それでも直らない場合は、カーテンやブラインドなどで日ざしを弱くするか、カメラの設置場所を変えてください。	44
	カメラからの映像が適切な明るさにならない	●カメラの設置場所の明るさが、急激に変化していませんか？ ➡ 約 10 秒ほどお待ちください。自動で補正されます。	—
	子機(別売)で、映像が乱れる または 映像の更新が遅い (約５秒以上かかる)	●子機背面のアンテナ部(内蔵)を手でおおっていませんか？ ➡ アンテナ部から手を離してください。	16
		●子機またはカメラが、ドアホン親機から離れすぎていませんか？ ➡ ドアホン親機に近づけてください。または、中継アンテナ(別売)を設置すると改善できることがあります。	7、55
		●ドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➡ 場所を移動してください。	7
		●近くで電子レンジや無線 LAN 機器などを使っていませんか？ ➡ 子機またはカメラをドアホン親機に近づけてください。または、これらの機器から離してご使用ください。	7

	症　状		確 認 と 処 置	参照ページ
再生画像(ドアホン親機・別売の子機)	画像が保護できない	▶	●保護できる枚数を超えていませんか？ ➡ 保護できるのは、最大 20 枚です。 別の画像の保護を解除してから、保護してください。 ※保護を解除した画像は、新しい画像によって順次、上書きされます。	36
	画像が消去できない	▶	●保護設定していませんか？（ドアホン親機は「O╖」、別売の子機は「M」表示がある） ➡ 保護を解除してから、消去してください。	36
	夜間に録画されたドアホン画像が暗い	▶	●夜間などは、ドアホンからの画像表示に時間がかかるため、画像が表示される前に自動録画してしまうことがあります。 ➡ ドアホン親機で機能設定の『録画開始時間』を、「遅い」に設定してください。	45
	録画日時が「−−月−−日 −−：−−」などとなっている	▶	●日時設定されていますか？ ➡ ドアホン親機で日時設定してください。	23
通　話	通話が途切れるまたは、ほとんど聞こえない	▶	●ドアホン親機や子機(別売)、ドアホンやカメラ(別売)の周りの音が騒がしくありませんか？ ➡ 周りの音が大きいと通話が途切れることがあります。 プレストーク通話に切り替えると便利です。	25
			●子機背面のアンテナ部(内蔵)を手でおおっていませんか？ ➡ アンテナ部から手を離してください。	16
			●子機またはカメラが、ドアホン親機から離れすぎていませんか？ ➡ ドアホン親機に近づけてください。 または、中継アンテナ(別売)を設置すると改善できることがあります。	7、55
			●ドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➡ 場所を移動してください。	7
			●近くで電子レンジや無線 LAN 機器などを使っていませんか？ ➡ 子機またはカメラをドアホン親機に近づけてください。 または、これらの機器から離してご使用ください。	7
	雑音(ハウリング)が聞こえて通話ができない	▶	●通話中の相手との距離が近すぎると、雑音(ハウリング)が聞こえます。 ➡ 少し離れた場所で通話してください。	−
	相手側に、こちらの声がまったく聞こえない(こちら側には相手の音声が聞こえる)	▶	●プレストーク通話になっていませんか？ (ドアホン親機は「P」、別売の子機は [アイコン] を表示) ➡ プレストーク通話では、**【通話】**ボタンを押している間だけ、相手側にこちらの声が聞こえます。	25
	音声応答がうまくいかない	▶	●応答の声が小さかったり、「はーい」を長く(約 1 秒以上)伸ばしすぎると、うまく応答できません。 ➡ ドアホン親機や子機(別売)が「ピッ」と鳴るまで、声の大きさや長さを変えて応答してみてください。	26

(次ページにつづく)

故障かなと思ったとき

	症　状	確 認 と 処 置	参照ページ
別売の子機・電池	が点滅し、 「ピッピッ」と鳴る	●電池がなくなりかけています。 ➡ すぐに充電してください。	22
	子機を充電器に置いても充電ランプが点灯しない	●電源アダプタが電源コンセントまたは充電器から外れていませんか？ ➡ 電源アダプタを電源コンセントまたは充電器にしっかり差し込んでください。 ●充電器に正しく置いていますか？ ➡ 正しく置いてください。 （「ピッ」と鳴り、充電ランプが赤点灯する） ●充電端子が汚れていませんか？ ➡ 乾いた布でふいてください。 ●子機の電池パックが新品、または電池が切れていませんか？ ➡ 約 60 秒間、充電器に置いたままにしてください。	22 22 54 22
	子機を７時間以上充電しても、充電ランプが消灯しない	●ドアホン親機の電源が入っていないときや、子機に「圏外」と表示されているときは、充電時間が長くなります。 ➡ ドアホン親機の電源が入っていることを確認し、子機の「圏外」表示が消えるまでドアホン親機に近づけて充電してください。	22
	子機を充電しても2、3回使うと が点滅する	●電池パックの寿命です。 ➡ 交換してください。	54
	子機や充電器が温かい	●異常ではありません。 （夏は冬に比べて少し熱く感じることがあります） ➡ 非常に熱いときは、電源アダプタを電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所またはお買い求めの販売店にご相談ください。	–
その他	ドアホン親機が動作しない ・映像が映らない ・呼出音が鳴らない ・音声が出ない	●電源プラグが電源コンセントから外れている、または外れかけていませんか？ ➡ 電源プラグを一度外してからしっかりと電源コンセントに差し込んでください。それでも直らないときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めの販売店にご相談ください。 ●電源直結工事をして、ご使用のとき ➡ 当社のサービス取扱所またはお買い求めの販売店にご相談ください。	–
	画面が真っ暗	●待ち受け時は、画面が消えます。 ➡【切】ボタンを押すと、画面を表示します。 ●子機（別売）の電池が切れていませんか？ ➡ 充電してください。	– 22
	ドアホンまたはカメラ（別売）からの呼出音が鳴らない	●呼出音量が「切」になっていませんか？ ➡ ドアホンの場合は【▲】ボタン、カメラの場合は【▶】ボタンを押して、「切」を解除してください。 ●鳴り分け設定をしていませんか？ ➡ 機能設定の『鳴り分け』の設定を確認してください。	46 47
	【D】ボタンが点滅している	●ドアホンやカメラ（別売）の未再生画像があると点滅します。 ➡ 再生操作を行うと、消灯します。	34、36

	症　状		確認と処置	参照ページ
その他	カメラ(別売)の人感センサーが反応しない、または誤動作する	▶	●お買い求め時の設定では、一度センサーが反応すると、約 60 秒間は次の反応を行いません。	30
			●機能設定の『センサー種別』が、「外部入力」または「OFF」に設定されていませんか？ ➡ 設定を「人感」に変えてください。	44
			●カメラを下記のような場所に設置すると、人感センサーが反応しなかったり、誤動作することがあります。 ・直射日光のあたるところ ・冷暖房機の近くなど、温度変化の激しいところ ・台所など油汚れがついたり、蒸気がかかるところ ・携帯電話など強い電波を発する製品の近く ・前方に、温度変化の検知を妨げたり、反射するような障害物があるところ ・白熱灯の真下など、周囲の温度が高くなるところ	8
			●外からの風や、扉の開閉などで吹き込む風でカメラ周辺の温度が変化した場合も、センサーが反応することがあります。	8
	カメラ(別売)の人感センサーが反応しにくくなった または、検知する範囲(距離)が狭く(短く)なった	▶	●人感センサーの表面が汚れていませんか？ ➡ 人感センサーの位置を確認のうえ、表面を柔らかい乾いた布でふいてください。	8、20、54
			●機能設定の『人感センサー感度』が、「低」に設定されていませんか？ ➡ 設定を「標準」に変えてください。	44
	カメラ(別売)の人感センサーが反応したが人物がまったく、またはほとんど映っていない	▶	●下記のような場合、うまく撮影できないことがあります。 ・センサーの検知範囲の境界付近にいる人などの動き ・カメラの前をゆっくり横切った人などの動き	8
			➡ 機能設定の『人感センサー感度』を「低」に変えると、改善できることがあります。	44
	「接続できません」 または 「カメラ１接続できません」 などと表示が出る	▶	●子機(別売)またはカメラ(別売)が、ドアホン親機から離れすぎていませんか？ ➡ ドアホン親機に近づけてください。 または、中継アンテナ(別売)を設置すると改善できることがあります。	7、55
			●ドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➡ 場所を移動してください。	7
			●近くで電子レンジや無線 LAN 機器などを使っていませんか？ ➡ 子機またはカメラをドアホン親機に近づけてください。 または、これらの機器から離してご使用ください。	7
	Ｕ－ドアホンボックス(別売)に接続している電話機(ファクス)で、ドアホン２からの呼出音がドアホン１と同じ音になる	▶	●機能設定の『拡張機器』が、「インターホン」に設定されていませんか？ ➡ 当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にご相談ください。	−
	電話機(ファクス)からドアホンを呼び出したが、外の音が聞こえない	▶	●直前に着信、通話またはモニターしたドアホンとしか、呼び出して通話することができません。 ➡ 故障ではありません。 ドアホン親機か子機(別売)で玄関先の様子を確認してください。	29

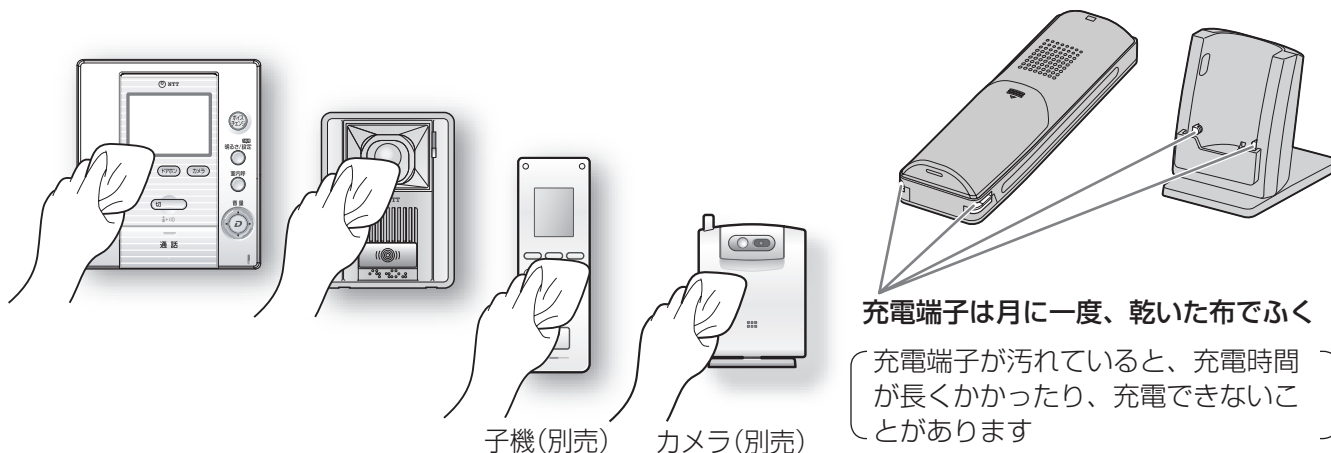
お手入れ

柔らかい布でからぶきする

●汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませ、固くしぼってふいてください。

子機（別売）　カメラ（別売）

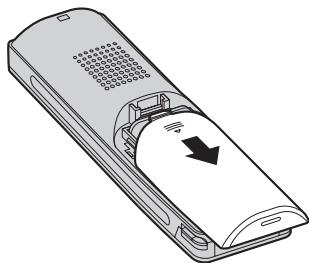
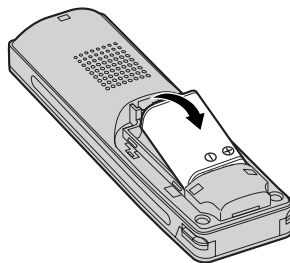
充電端子は月に一度、乾いた布でふく

（充電端子が汚れていると、充電時間が長くかかったり、充電できないことがあります）

お願い

● アルコール類、みがき粉、粉せっけん、ベンジン、シンナー、ワックス、石油、熱湯は使わないでください。また、殺虫剤、ガラスクリーナー、ヘアスプレーなどをかけないでください。
（変色、変質の原因になります）

子機（別売）の電池パックを交換する

電池パックは消耗品です。約 7 時間充電しても通話数分後に電池残量表示が点滅したら、新しい電池パックと交換してください。

1 電池カバーを開ける

2 古い電池パックを外す

3 新しい電池パックを入れて充電する
（☞ 22 ページの手順 1、3）

お願い

● 必ず指定の電池パック（別売品／電池パック− 092、仕様：ニッケル水素電池、DC 3.6 V、650 mAh）をお使いください。ご注文は、「別売品／消耗品について」（☞ 55 ページ）を参照してください。

■電池パック回収のお願い

使用済の電池パックなどは貴重な資源です。使用後は端子が短絡しないように、端子にテープを貼るなどの処置をしてから当社のサービス取扱所などへお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。

⚠危険

●電池パックについて

電池パックの取り扱いは、次の点にご注意ください。

- 必ず指定のものをお使いください。
- 取り出して充電しないでください。
- 火の中に投入したり、分解・加熱しないでください。
- 充電には、指定の充電器をお使いください。
- 端子を短絡させないでください。

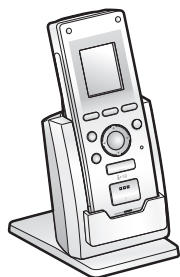
別売品／消耗品について

別売品

■子機

2.4 Gワイヤレスモニター Pと2.4 Gデジタルコードレス電話機「P3」と合わせて4台まで増設できます。

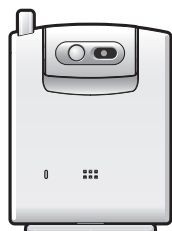
2.4 G ワイヤレスモニター P

増設・減設には設定が必要となりますので、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお申し付けください。

2.4 G デジタルコードレス電話機「P3」

増設・減設には設定が必要となりますので、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお申し付けください。

■カメラ

2.4 G ワイヤレスカメラー P

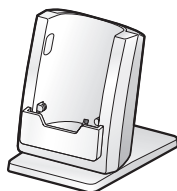
4台まで増設できます。増設・減設には設定が必要となりますので、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお申し付けください。

■ドアホン(玄関子機)

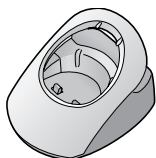
カラーカメラドアホン－ P Ⅱ

2台まで接続できます。工事が必要となりますので、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお申し付けください。

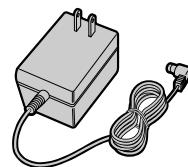
■子機用充電器

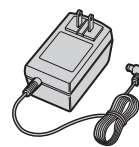
2.4 G ワイヤレスモニター P 充電器

2.4 Gワイヤレスモニター Pに付属の充電器と同じものです。

2.4 G デジタルコードレス電話機「P2」充電器「W」

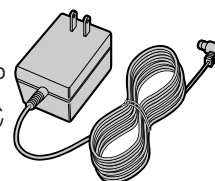
2.4 Gデジタルコードレス電話機「P3」に付属の充電器と同じものです。

■子機用電源アダプタ

電源アダプタ(H)－ 080

2.4 G ワイヤレスモニター Pに付属の電源アダプタと同じものです。

電源アダプタ SI03（K）

2.4 G デジタルコードレス電話機「P3」に付属の電源アダプタと同じものです。

■カメラ用電源アダプタ

電源アダプタ(H)－ 081

2.4 G ワイヤレスカメラー Pに付属の電源アダプタと同じものです。

■中継アンテナ

中継アンテナ

子機やカメラがドアホン親機と離れていて電波が届きにくいときに設置します。中継アンテナは2台まで設置でき、中継アンテナ1台で子機1台(またはカメラ1台)を中継できます。増設・減設には設定が必要となりますので、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお申し付けください。

■ドアホンボックス

U－ドアホンボックス

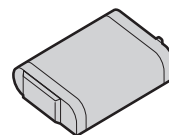
ドアホンに電話機やファクスを接続するときに設置します。工事が必要となりますので、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお申し付けください。

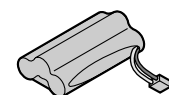
消耗品

■子機用電池パック

電池パックのご注文については、パーツサービスセンタ(0120-86-8289)またはお買い求めになった販売店にお申し付けください。

電池パック－ 092

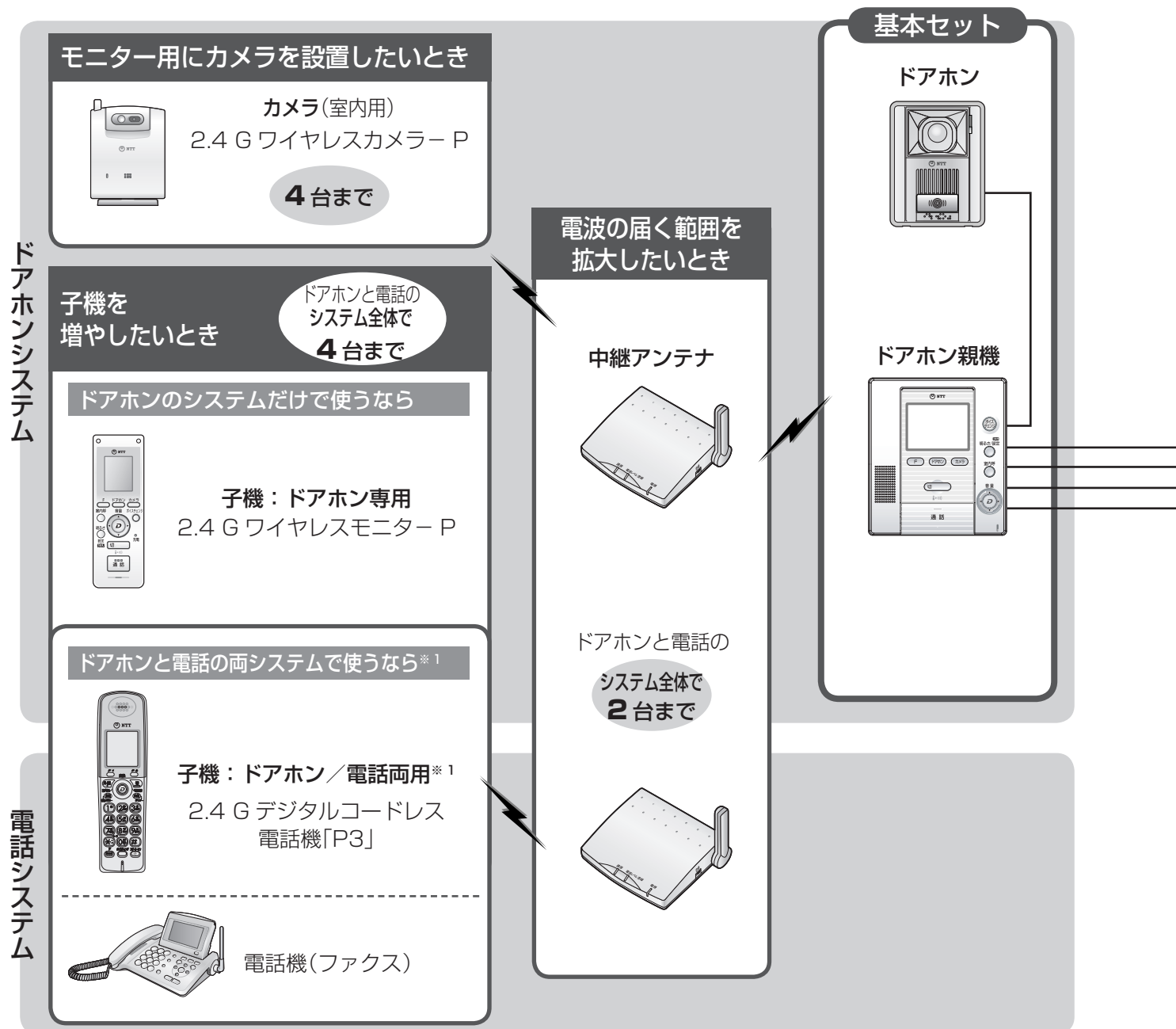
2.4 G ワイヤレスモニター Pに付属の電池パックと同じものです。

電池パック－ 085

2.4 G デジタルコードレス電話機「P3」に付属の電池パックと同じものです。

こんな機器が増設できます（システム構成図）

下記の別売機器を増設して、さらに使いやすいシステムにできます。（2005 年 11 月現在）

●別売品については（☞ 55 ページ「別売品／消耗品について」）

●設置や使いかたは、それぞれの機器の取扱説明書をご覧ください。

■ 本商品への登録が必要な機器

※ 1 電話（ファクス）親機に登録すると、ドアホンと電話（ファクス）の両方の機能が利用できます。

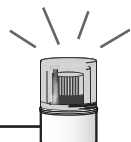
■ 工事が必要な機器

玄関が別の 2 世帯など、ドアホンを増やしたいとき

ドアホン

カラーカメラドアホンー P Ⅱ

あと **1** 台

ドアホンやカメラからの呼び出しを光や音でお知らせしたいとき

・回転灯(市販品)
・チャイム(市販品)

いずれかを **1** 台のみ

電気錠やエアコンなどを操作できるようにしたいとき

電気錠制御器
(市販品)

→ 電気錠

どちらか一方のみ

テレコントロール用エアコンアダプタ
(市販品)

→ エアコンなど ※2
(JEM-A 対応機器)

● ドアホン親機(増設した子機を含む)から、電気錠の施錠／解錠やエアコンなどの機器の ON/OFF ができます。

電話(ファクス)親機で、ドアホンと通話できるようにしたいとき

ドアホンボックス
U ードアホンボックス

電話機またはファクス
(ドアホン対応機種)

● 詳しくは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。
● 電話(ファクス)親機でドアホン親機やドアホン専用子機との室内通話はできません。

※ 2 (社)日本電機工業会(JEMA)の統一規格に適合している機器を指します。
この規格は、家庭内機器(エアコンなど)の動作／停止などを遠隔制御および監視するための制御端子および信号について規定しています。

索引

数字、アルファベット

あ 行

か 行

さ 行

仕 様

外観・仕様などは改良のため予告なしに変更することがあります。

■カラーカメラドアホンモニターＰⅡ(ドアホン親機)

液晶ディスプレイ	3.5 型 TFT カラー液晶ディスプレイ
無線通信方式	2.4 GHz 周波数ホッピング方式
電源	AC100 V ± 10 V　50 ／ 60 Hz
消費電力	動作時：約 14 W　　待ち受け時：約 1.4 W
外形寸法	188 mm（高さ）× 165 mm（幅）× 41.5 mm（奥行き）
質量	約 760 g
使用環境	温度：0 ～ 40 ℃　　湿度：90 %以下

■カラーカメラドアホンーＰⅡ(ドアホン)

撮像素子	1/4 型 CCD（25 万画素）
最低被写体照度	1 ルクス(カメラから約 50 cm 以内)
照明方法	赤外線 LED
電源	ドアホン親機より供給(動作時：DC 約 20 V ／ 180 mA　待ち受け時：DC 約 5 V ／ 2 mA)
外形寸法	131 mm（高さ）× 99 mm（幅）× 41.5 mm（奥行き）
質量	約 200 g
使用環境	温度：－ 10 ～ 50 ℃　　湿度：90 %以下

■ 2.4 G ワイヤレスモニターＰ（別売子機）

液晶ディスプレイ	1.8 型 STN カラー液晶ディスプレイ
無線通信方式	2.4 GHz 周波数ホッピング方式
通信可能距離	約 100 m（ドアホン親機との見通し距離）
使用時間※	連続使用時間：約 2.5 時間　　待ち受け時間：約 200 時間
充電時間	約 7 時間
電源	専用ニッケル水素電池(DC3.6 V ／ 650 mAh)
外形寸法	157 mm（高さ）× 52 mm（幅）× 35 mm（奥行き）
質量	約 175 g（電池パック含む）
使用環境	温度：0 ～ 40 ℃　　湿度：90 %以下

※ 7 時間以上充電した状態で、使用環境温度が 20℃のとき

■ 2.4 G ワイヤレスカメラーＰ（別売カメラ）

撮像素子	1/7 型 CMOS センサー（10 万画素）
最低被写体照度	10 ルクス
焦点	固定(0.1 m ～∞)
撮影(撮像)範囲	水平：約 55 °　垂直：約 42 °
センサー検知方式	焦電型赤外線センサー
センサー検知範囲	水平：約 65 °　垂直：約 55 °　距離：約 5 m（周囲温度：20 ℃時)
無線通信方式	2.4 GHz 周波数ホッピング方式
通信可能距離	約 100 m（ドアホン親機との見通し距離）
電源	AC100 V ± 10 V　50 ／ 60 Hz　DC 8.5 V ／ 270 mA
消費電力	動作時：約 3.0 W　　待ち受け時：約 2.1 W
外形寸法	カメラスタンド使用時：122 mm（高さ）× 86 mm（幅）× 70 mm（奥行き） カメラスタンド未使用時：114 mm（高さ）× 86 mm（幅）× 34 mm（奥行き）
質量	約 161 g（カメラスタンド含む）
使用環境	温度：0 ～ 40 ℃　　湿度：90 %以下

■ 2.4 G ワイヤレスモニターＰ充電器(別売充電器)

電源	入力：AC100 V ± 10 V　50 ／ 60 Hz 出力：DC8.5 V ／ 270 mA
消費電力	充電時：約 2.9 W　待ち受け時：約 1.2 W
外形寸法	充電器スタンド使用時：115 mm（高さ）× 76 mm（幅）× 90 mm（奥行き） 充電器スタンド未使用時：105 mm（高さ）× 76 mm（幅）× 48 mm（奥行き）
質量	約 115 g（充電器スタンド含む）
使用環境	温度：0 ～ 40 ℃　　湿度：90 %以下

保守サービスのご案内

●**保証について**

保証期間（1 年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたします。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●**保守サービスについて**

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをおすすめしております。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

●**その他**

定額保守サービスの料金については、NTT 通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT 通信機器お取扱相談センタ

■ NTT 東日本エリアでご利用のお客様
（新潟県・長野県・山梨県・神奈川県以東の各都道県）

お問い合わせ先：フリーアクセス 0120-970413

■ NTT 西日本エリアでご利用のお客様
（富山県・岐阜県・愛知県・静岡県以西の各府県）

お問い合わせ先：フリーダイヤル 0120-109217（トークニイーナ）

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

●**補修用部品の保有期間について**

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7 年間保有しております。

PFQX2321ZA

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：http://www.ntt-east.co.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

使い方等でご不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリアでご利用のお客様

（新潟県・長野県・山梨県・神奈川県以東の各都道県）

お問い合わせ先 フリーアクセス 0120−970413

■NTT西日本エリアでご利用のお客様

（富山県・岐阜県・愛知県・静岡県以西の各府県）

お問い合わせ先 0120−109217（トークニイーナ）

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

本2737-1(2005.10)
ｶﾗｰｶﾒﾗﾄﾞｱﾎﾝｰP2/ｶﾗｰｶﾒﾗﾄﾞｱﾎﾝﾓﾆﾀｰP2ﾄﾘｾﾂ